

アンケート調査結果(速報版)
【市民・事業所・大学生】

令和3年9月

徳島市

目次

I 市民アンケート

① 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
3 回収状況	1

② 調査結果

1 回答者の属性	2
2 徳島市のまちづくりへの評価	7
3 普段使用している交通機関	11
4 身近に必要な施設	13
5 防災まちづくり	16
6 まちづくりの進め方	20
7 まちづくりに関するご意見・ご提言等(自由記述)	22

II 事業所アンケート

③ 調査概要

1 調査の目的	24
2 調査の概要	24
3 回収状況	24

④ 調査結果

1 回答事業所の属性	25
2 事業所周辺での課題	30
3 今後の事業計画	31
4 徳島市のまちづくりへの評価	32
5 事業所のまちづくりへの参画	36
6 まちづくりに関するご意見・ご提言等(自由記述)	38

Ⅲ 大学生アンケート

⑤ 調査概要

1 調査の目的	39
2 調査の概要	39
3 回収状況	39

⑥ 調査結果

1 回答者の属性	40
2 徳島市のイメージ	43
3 徳島市での今後の居留意向	44
4 まちづくりに関するご意見・ご提言等(自由記述)	48

I 市民アンケート

①調査概要

1 調査の目的

「徳島市都市計画マスタープラン」の見直しに向け、まちづくりへの評価や普段使用している交通機関、身近に必要な施設、防災まちづくり、まちづくりの進め方についての市民の意向・意見を把握し、徳島市都市計画マスタープランに反映させるため。

2 調査の概要

調査の概要は次のとおりである。

調査手法	アンケート調査 配布・回収ともに郵送方式による
調査対象	市民 3,000 人(満 18 歳以上、住民基本台帳から無作為抽出)
調査期間	令和3年7月 21日(水)～8月 10 日(火)
実施主体	徳島市

3 回収状況

調査票の回収状況は次のとおりである。

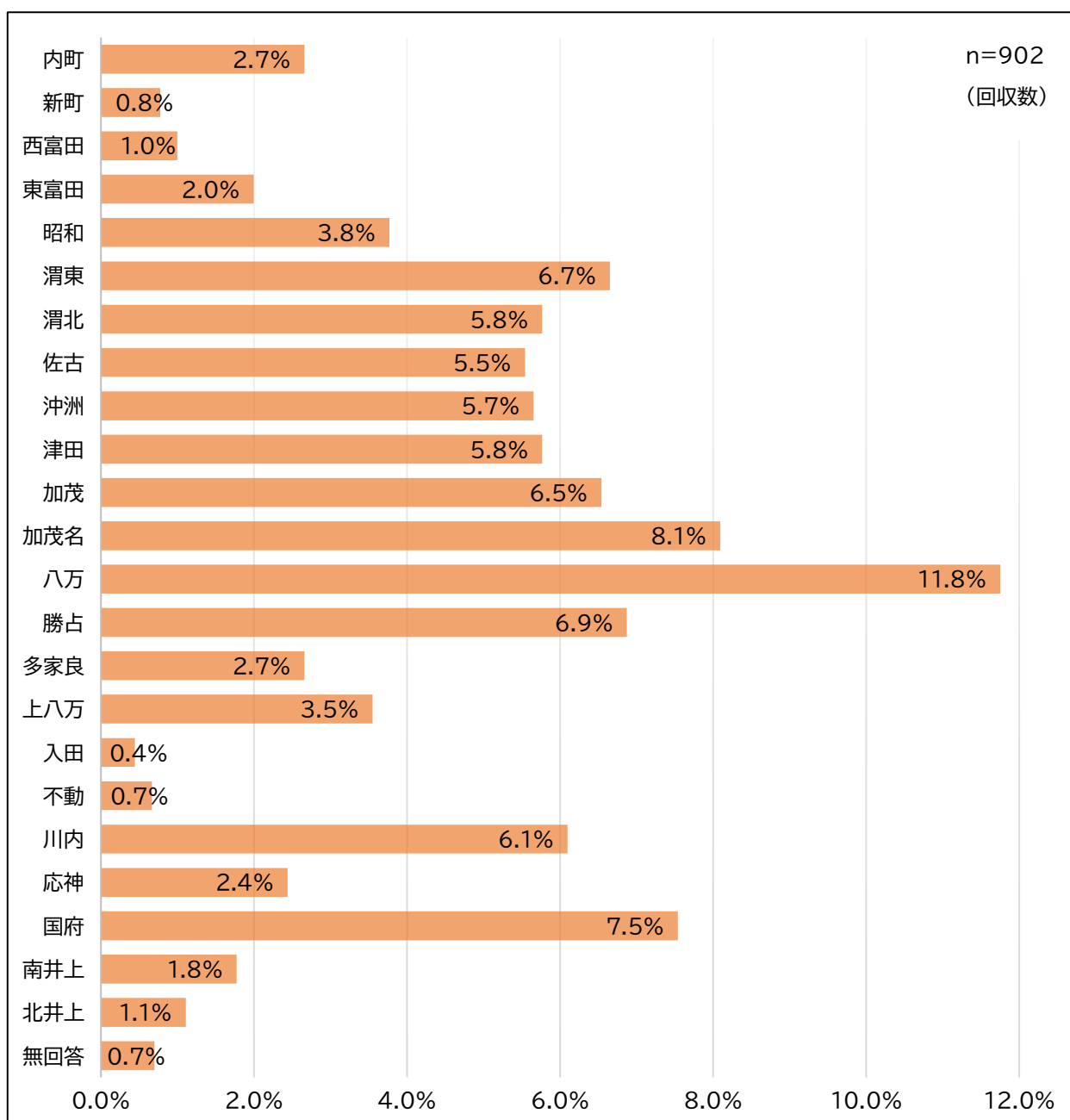
配布数	回収数	回収率
3,000 件	902 件	30.1%

② 調査結果

1 回答者の属性

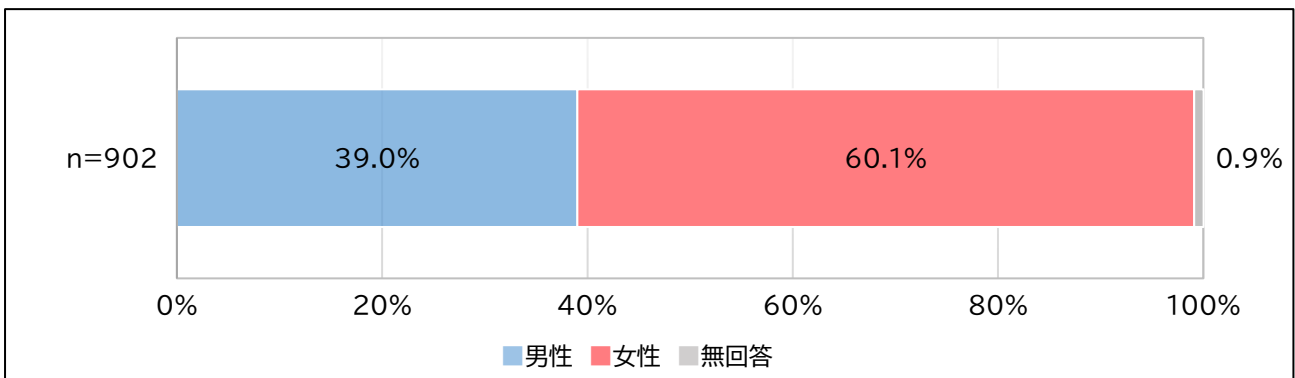
(1) 居住地区(1つに○)

お住まいの地区をみると、「八万地区」が11.8%と最も多く、次いで「加茂名地区」が8.1%、「国府地区」が7.5%となっている。



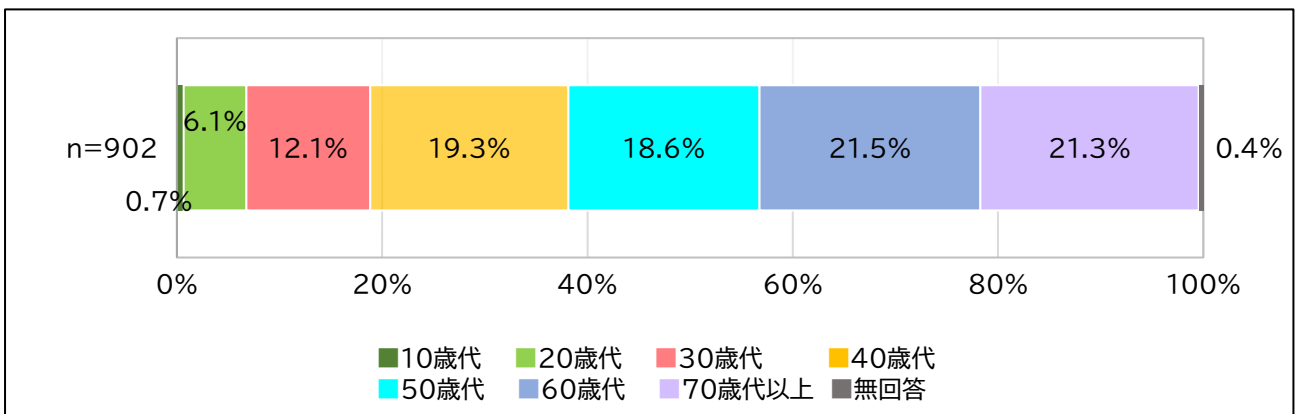
(2) 性別(1つに○)

性別をみると、「女性」が 60.1%、「男性」が 39.0%と、女性の回答者が多くなっている。



(3) 年齢(1つに○)

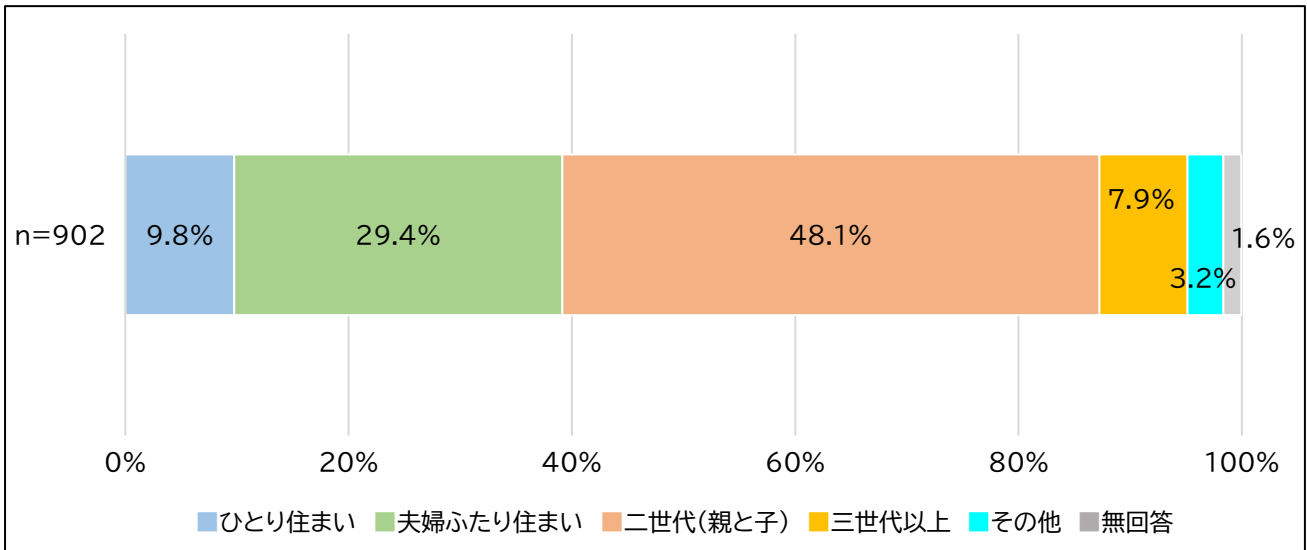
年齢をみると、「60歳代」が 21.5%と最も多く、次いで「70歳代以上」が 21.3%となっており、高齢者が多くなっている。



(4) 同居家族(1つに〇)

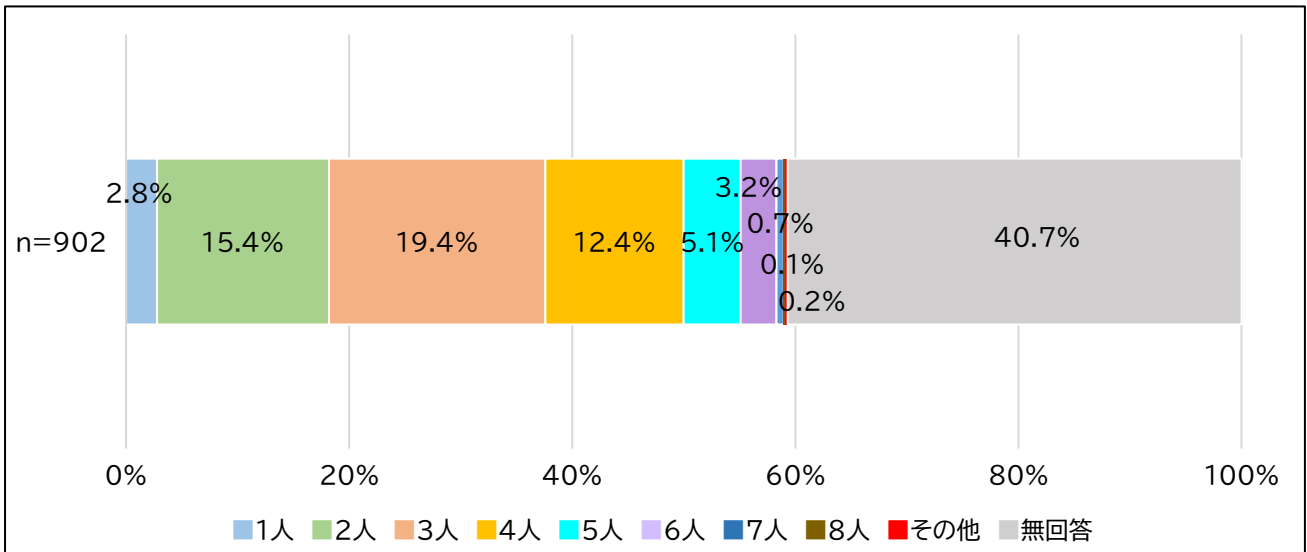
ア 家族構成

家族構成をみると、「二世代」が 48.1%と最も多く、次いで「夫婦ふたり」が 29.4%となっている。



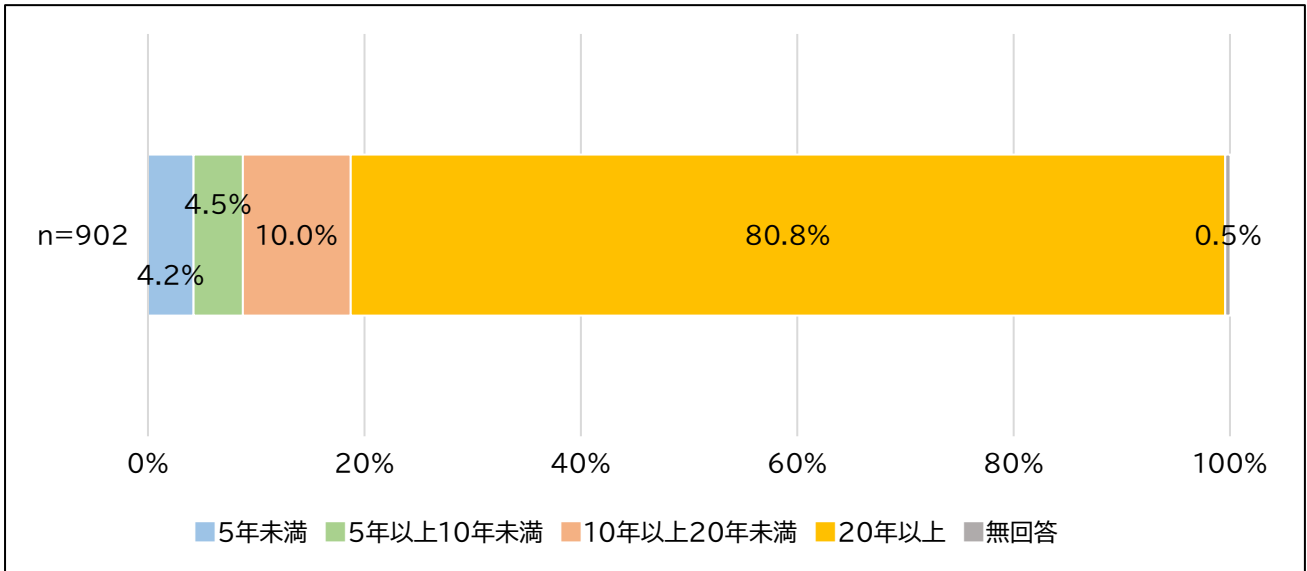
イ 家族人数

家族人数をみると、「3人」が 19.4%と最も多く、次いで「2人」が 15.4%、「4人」が 12.4%となっている。



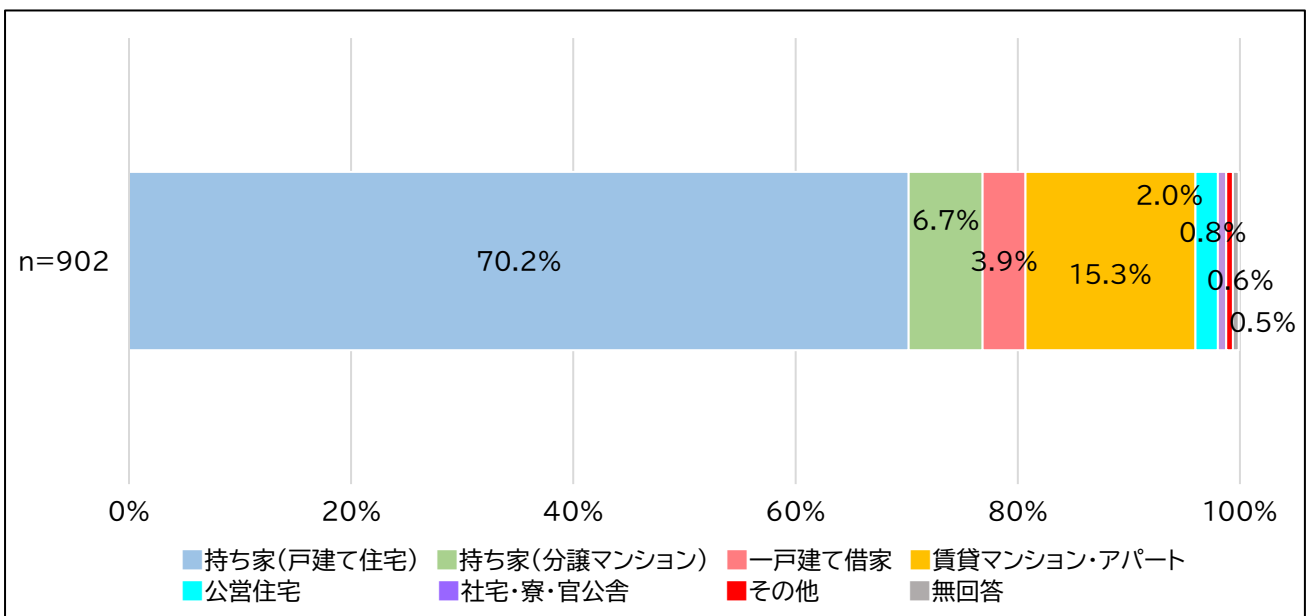
(5) 居住年数(1つに○)

居住年数を見ると、「20年以上」が80.8%と非常に多く、長期間、徳島市に居住している人が多い。



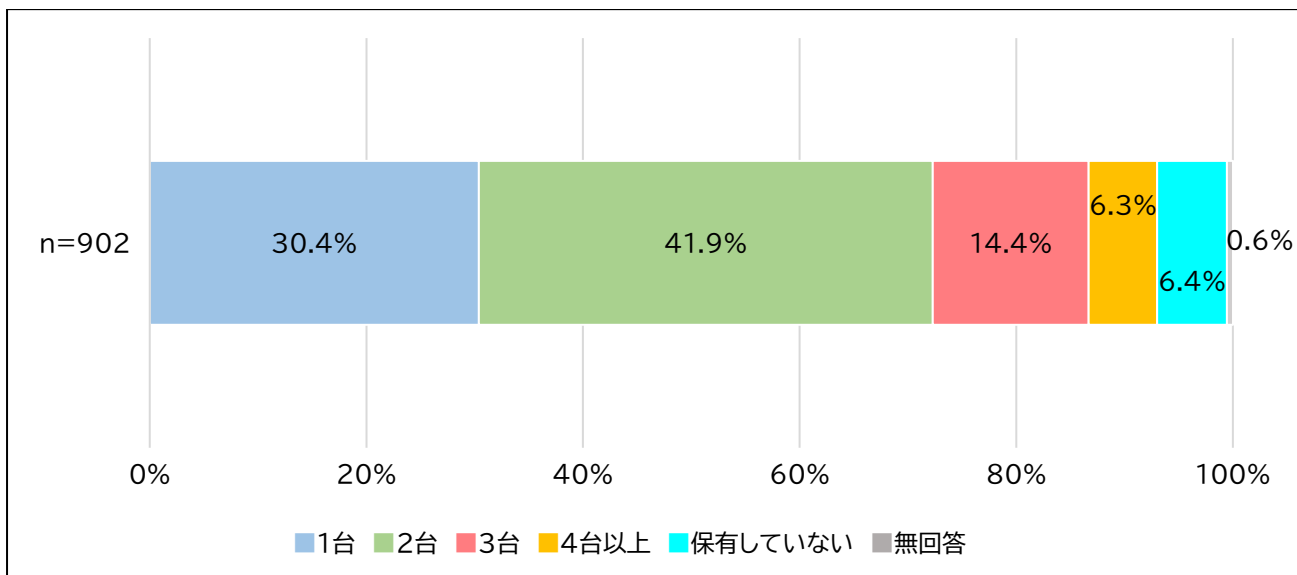
(6) 住宅の形態(1つに○)

住宅の形態を見ると、「持ち家(戸建て住宅)」が70.2%と非常に多くなっており、次いで「賃貸マンション・アパート」が15.3%となっている。



(7) 自動車の台数(1つに〇)

自動車の台数を見ると、「2台」が41.9%と最も多く、次いで「1台」が30.4%となっている。「保有していない」は6.4%のみとなっており、ほとんどの世帯が1台以上の車を保有している。



2 徳島市のまちづくりへの評価

【満足度】 ※設問項目ごとに1つに○

満足度の上位3位をみると、「日常の買い物のしやすさ」が 3.62 点と最も高く、次いで「山林や河川、水路、田畑などの自然の豊かさや美しさ」、「総合的にみた住みやすさ」となっている。

下位3位をみると、「自転車が通行できるスペースの安全性や快適性」が 2.28 点と最も低く、次いで「鉄道やバスの利用のしやすさ」、「災害(地震・津波)に対する安全性」となっている。

◇各設問の満足度の平均点

設問項目	満足度
日常の買い物のしやすさ	3.62
山林や河川、水路、田畑などの自然の豊かさや美しさ	3.41
総合的にみた住みやすさ	3.39
自動車での移動のしやすさ	3.25
医療・福祉サービスの充実度	3.19
犯罪に対する安全性	3.10
地域の公民館やコミュニティセンターの充実度	3.01
街並みなどの景観の美しさ	2.93
地域活動への参加のしやすさ	2.81
公園・広場・緑地などの利用のしやすさ	2.81
まちなかの徒歩での移動のしやすさ	2.80
子ども向け施設の充実度	2.61
災害(水害)に対する安全性	2.58
スポーツやレクリエーションができる場所の充実度	2.57
災害(地震・津波)に対する安全性	2.56
鉄道やバスの利用のしやすさ	2.31
自転車が通行できるスペースの安全性や快適性	2.28
平均値	2.90

※回答のうち、満足している=5(点)、やや満足している=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、やや不満である=2(点)、不満である=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【重要度】 ※設問項目ごとに1つに○

重要度の上位3位をみると、「災害(地震・津波)に対する安全性」が 4.52 点と最も高く、次いで「災害(水害)に対する安全性」、「日常の買い物のしやすさ」となっている。

下位3位をみると、「地域活動への参加のしやすさ」が 3.25 点と最も低く、次いで「地域の公民館やコミュニティセンターの充実度」、「鉄道やバスの利用のしやすさ」となっている。

◇各設問の重要度の平均点

設問項目	重要度
災害(地震・津波)に対する安全性	4.52
災害(水害)に対する安全性	4.51
日常の買い物のしやすさ	4.40
犯罪に対する安全性	4.39
総合的にみた住みやすさ	4.37
医療・福祉サービスの充実度	4.36
自動車での移動のしやすさ	4.33
自転車が行き通れるスペースの安全性や快適性	4.07
山林や河川、水路、田畑などの自然の豊かさや美しさ	3.86
街並みなどの景観の美しさ	3.85
公園・広場・緑地などの利用のしやすさ	3.79
まちなかの徒歩での移動のしやすさ	3.79
子ども向け施設の充実度	3.75
スポーツやレクリエーションができる場所の充実度	3.58
鉄道やバスの利用のしやすさ	3.50
地域の公民館やコミュニティセンターの充実度	3.37
地域活動への参加のしやすさ	3.25
平均値	3.98

※回答のうち、重要である=5(点)、やや重要である=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、あまり重要でない=2(点)、重要でない=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【概ね5年前と比較した改善度】 ※設問項目ごとに1つに○

概ね5年前と比較した改善度の上位3位をみると、「日常の買い物のしやすさ」が 3.13 点と最も高く、次いで「医療・福祉サービスの充実度」、「自動車での移動のしやすさ」となっている。

下位3位をみると、「鉄道やバスの利用のしやすさ」が 2.07 点と最も低く、次いで「自転車が通行できるスペースの安全性や快適性」、「まちなかの徒歩での移動のしやすさ」となっている。

◇各設問の改善度の平均点

設問項目	概ね5年前と比較した改善度
日常の買い物のしやすさ (n=788)	3.13
医療・福祉サービスの充実度 (n=807)	2.93
自動車での移動のしやすさ (n=755)	2.92
総合的にみた住みやすさ (n=796)	2.85
山林や河川、水路、田畑などの自然の豊かさや美しさ (n=783)	2.82
地域の公民館やコミュニティセンターの充実度 (n=781)	2.80
犯罪に対する安全性 (n=774)	2.78
地域活動への参加のしやすさ (n=759)	2.71
街並みなどの景観の美しさ (n=763)	2.68
災害(地震・津波)に対する安全性 (n=711)	2.66
災害(水害)に対する安全性 (n=743)	2.63
公園・広場・緑地などの利用のしやすさ (n=723)	2.63
子ども向け施設の充実度 (n=693)	2.56
スポーツやレクリエーションができる場所の充実度 (n=759)	2.53
まちなかの徒歩での移動のしやすさ (n=783)	2.51
自転車が通行できるスペースの安全性や快適性 (n=766)	2.26
鉄道やバスの利用のしやすさ (n=796)	2.07
平均値	2.67

※回答のうち、改善している=5(点)、やや改善している=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、あまり改善していない=2(点)、改善していない=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。「わからない」と回答した分は、本換算からは除外した。

【満足度、重要度、概ね5年前と比較した改善度のまとめ】

各設問項目の満足度、重要度、概ね5年前と比較した改善度をみると、「4、自転車が通行できるスペースの安全性や快適性」は、満足度と改善度が低く重要度が高い項目となっているため、特に優先的に取組みを進めていく必要があると考えられる。

また、「6、災害(地震・津波)に対する安全性」、「7、災害(水害)に対する安全性」も満足度が低く重要度が高い項目となっているため、優先的に取組みを進めていく必要があると考えられる。

「3、鉄道やバス利用のしやすさ」や「11、スポーツやレクリエーションができる場所の充実度」、「12、子ども向け施設の充実度」などは、重要度は高くないものの、満足度が低い項目となっているので、中長期的に取組みを進めていく必要があると考えられる。

設問項目	満足度	重要度	概ね5年前と比較した改善度
1、自動車での移動のしやすさ	3.25	4.33	2.92
2、日常の買い物のしやすさ	3.62	4.40	3.13
3、鉄道やバスの利用のしやすさ	2.31	3.50	2.07
4、自転車が通行できるスペースの安全性や快適性	2.28	4.07	2.26
5、まちなかの徒歩での移動のしやすさ	2.80	3.79	2.51
6、災害(地震・津波)に対する安全性	2.56	4.52	2.66
7、災害(水害)に対する安全性	2.58	4.51	2.63
8、犯罪に対する安全性	3.10	4.39	2.78
9、医療・福祉サービスの充実度	3.19	4.36	2.93
10、地域の公民館やコミュニティセンターの充実度	3.01	3.37	2.80
11、スポーツやレクリエーションができる場所の充実度	2.57	3.58	2.53
12、子ども向け施設の充実度	2.61	3.75	2.56
13、地域活動への参加のしやすさ	2.81	3.25	2.71
14、公園・広場・緑地などの利用のしやすさ	2.81	3.79	2.63
15、街並みなどの景観の美しさ	2.93	3.85	2.68
16、山林や河川、水路、田畑などの自然の豊かさや美しさ	3.41	3.86	2.82
17、総合的にみた住みやすさ	3.39	4.37	2.85
平均値	2.90	3.98	2.68

【凡例】



3 普段使用している交通機関

【外出頻度】 ※設問項目ごとに1つに○

通勤・通学をみると、「週5日以上」が84.7%と、過半を占めている。

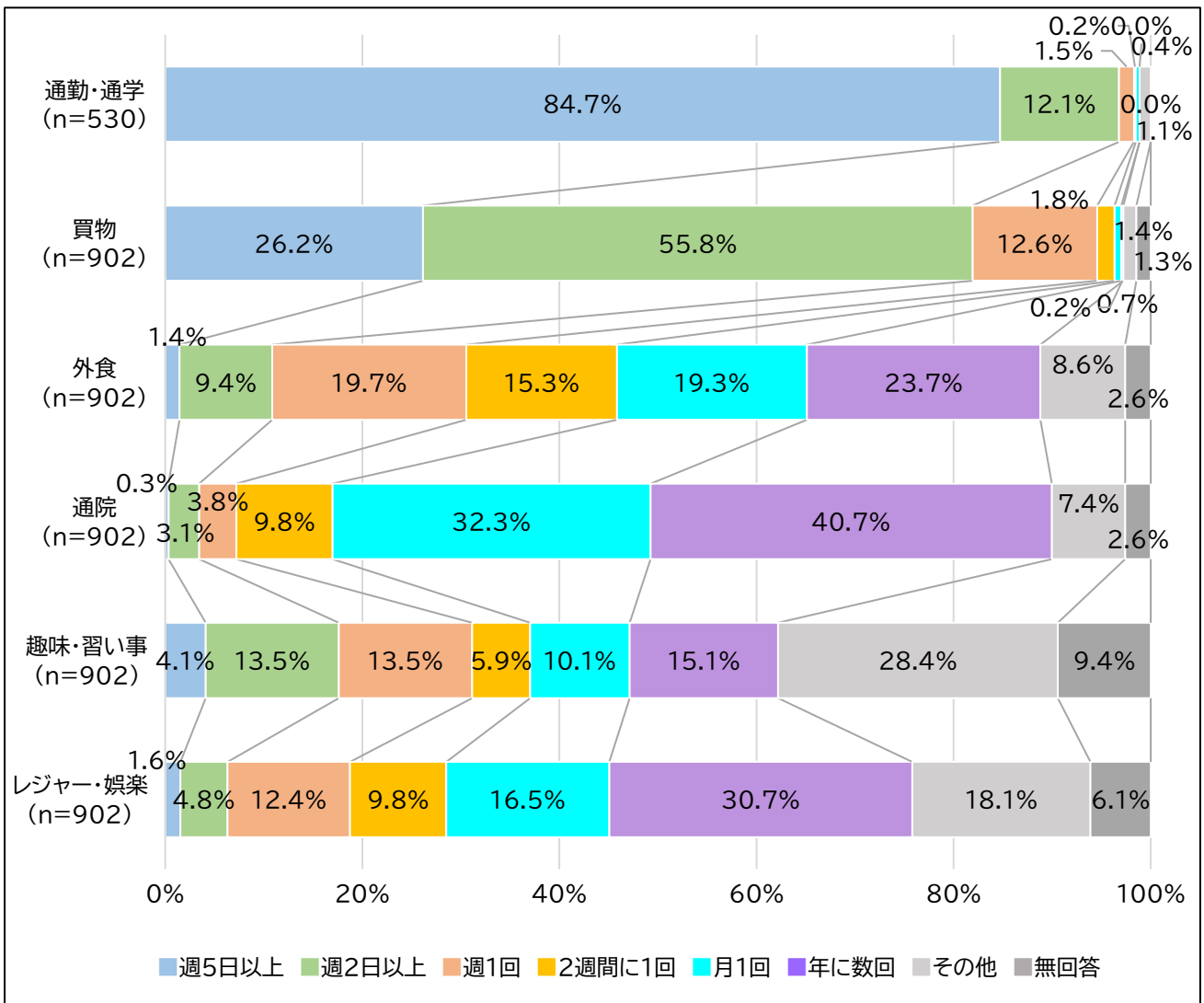
買物をみると、「週2日以上」が55.8%と最も多くなっている。次いで「週5日以上」が26.2%となっており、ほぼ毎日のように買物で外出する人が一定数いる。

外食をみると、「年に数回」が23.7%と最も多いが、他の設問と比べて、回答が分散している傾向が見られる。

通院をみると、「年に数回」が40.7%と最も多く、次いで「月1回」が32.3%となっている。

趣味・習い事をみると、「その他」(年に数回未満)が28.4%と最も多くなっている。

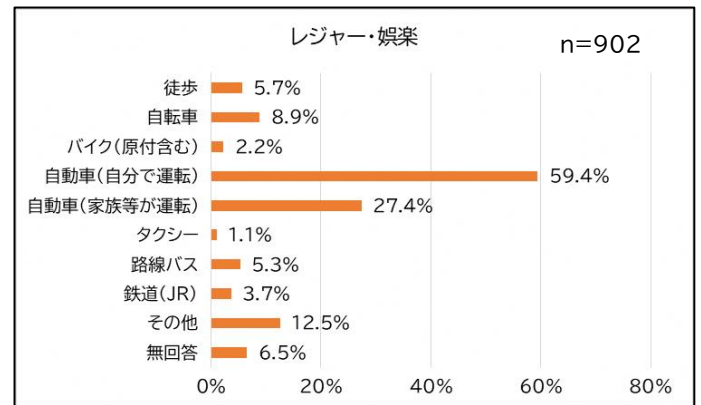
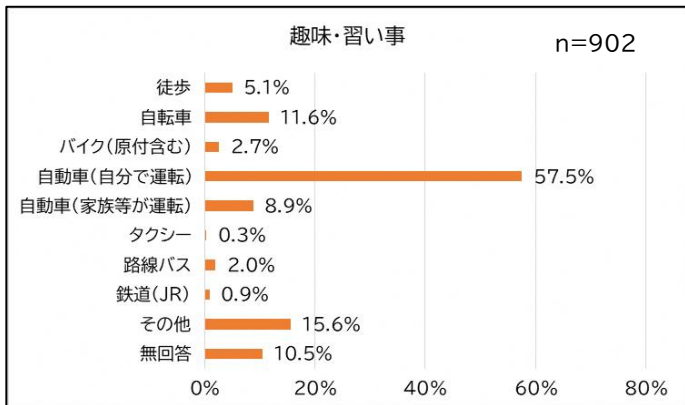
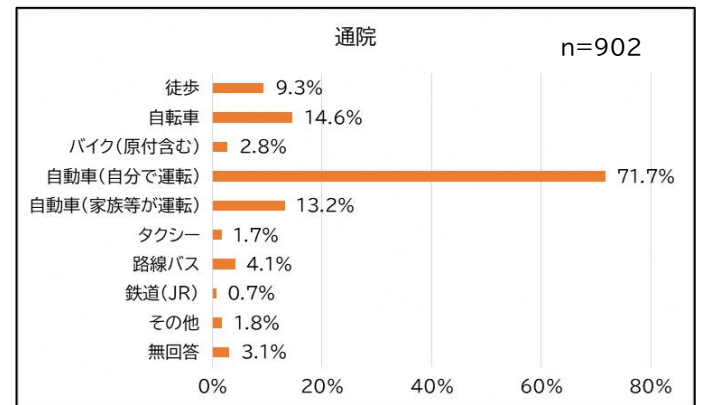
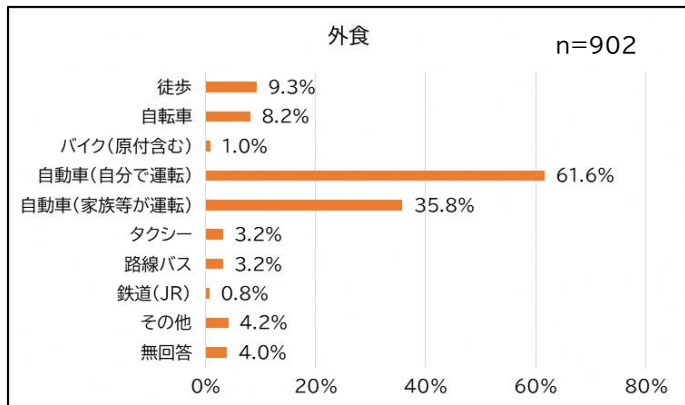
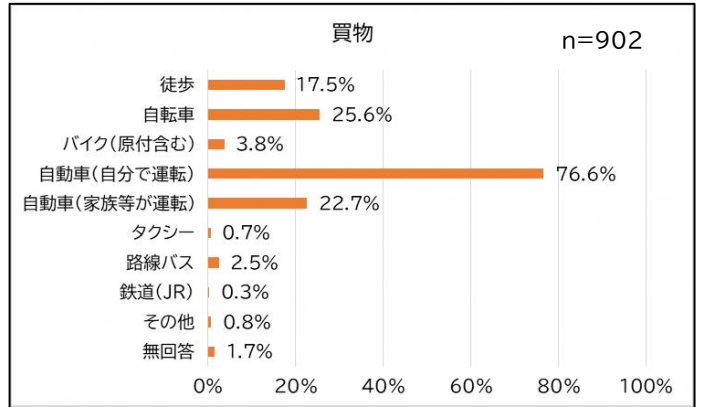
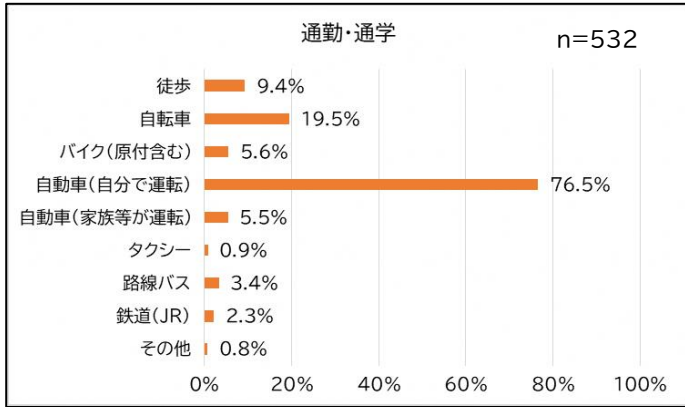
レジャー・娯楽をみると、「年に数回」が30.7%と最も多くなっている。



※「通勤・通学」は、通勤・通学をしていない人は回答不要としていたため、無回答は除外して集計した。

【移動手段】 ※設問項目ごとに該当するものすべてに○

移動手段をみると、どの場合も「自動車(自分で運転)」が最も多くなっている。通勤・通学、買物、通院については、「自転車」が2番目に多くっており、自転車を移動手段とする人が一定数いる。



※「通勤・通学」は、通勤・通学をしていない人は回答不要としていたため、無回答は除外して集計した。

(移動手段のみの回答があったため、前問と回答数は一致していない。)

4 身近に必要な施設

【満足度】 ※設問項目ごとに1つに○

満足度の上位3位をみると、「食料品や日用品の買い物への行きやすさ」が 3.91 点と最も高く、次いで「診療所への行きやすさ」、「金融機関への行きやすさ」となっている。

下位3位をみると、「文化・芸術施設への行きやすさ」が 2.92 点と最も低く、次いで「運動施設への行きやすさ」、「公園・広場・緑地への行きやすさ」となっている。

◇各設問の満足度の平均点

設問項目	満足度
食料品や日用品の買い物への行きやすさ (スーパー、コンビニ、ドラッグストアなど)	3.91
診療所への行きやすさ (内科、歯医者など)	3.74
金融機関への行きやすさ (銀行、銀行ATM、信用金庫など)	3.68
生活関連サービス店への行きやすさ (美容室、クリーニング店など)	3.67
郵便局への行きやすさ	3.54
病院への行きやすさ (総合病院、救急病院など)	3.49
学校(幼・小・中・高)への行きやすさ	3.44
飲食店への行きやすさ (食堂、レストランなど)	3.43
衣服、家具家電等の買い物への行きやすさ (専門店、ショッピングモールなど)	3.35
近隣住民と交流する場への行きやすさ (自治会集会所、公民館など)	3.19
娯楽・遊戯施設への行きやすさ (カラオケ、パチンコなど)	3.15
児童福祉施設への行きやすさ (保育所、子育て支援センター、児童館など)	3.13
高齢者福祉施設への行きやすさ (デイサービスなど)	3.12
行政機関の窓口への行きやすさ (徳島市役所、支所など)	3.10
公園・広場・緑地への行きやすさ	3.09
運動施設への行きやすさ (体育館、フィットネスなど)	3.03
文化・芸術施設への行きやすさ (図書館、美術館、博物館など)	2.92
平均値	3.35

※回答のうち、満足している=5(点)、やや満足している=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、やや不満である=2(点)、不満である=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【重要度】 ※設問項目ごとに1つに○

重要度の上位3位をみると、「食料品や日用品の買い物への行きやすさ」が4.61点と最も高く、次いで「病院への行きやすさ」、「診療所への行きやすさ」となっている。

下位3位をみると、「娯楽・遊戯施設への行きやすさ」が2.58点と最も低く、次いで「運動施設への行きやすさ」、「近隣住民と交流する場への行きやすさ」となっている。

◇各設問の重要度の平均点

設問項目	重要度
食料品や日用品の買い物への行きやすさ (スーパー、コンビニ、ドラッグストアなど)	4.61
病院への行きやすさ (総合病院、救急病院など)	4.27
診療所への行きやすさ (内科、歯医者など)	4.26
金融機関への行きやすさ (銀行、銀行ATM、信用金庫など)	4.24
衣服、家具家電等の買い物への行きやすさ (専門店、ショッピングモールなど)	4.12
行政機関の窓口への行きやすさ (徳島市役所、支所など)	4.00
郵便局への行きやすさ	3.99
学校(幼・小・中・高)への行きやすさ	3.87
生活関連サービス店への行きやすさ (美容室、クリーニング店など)	3.83
飲食店への行きやすさ (食堂、レストランなど)	3.77
公園・広場・緑地への行きやすさ	3.63
文化・芸術施設への行きやすさ (図書館、美術館、博物館など)	3.48
児童福祉施設への行きやすさ (保育所、子育て支援センター、児童館など)	3.39
高齢者福祉施設への行きやすさ (デイサービスなど)	3.33
近隣住民と交流する場への行きやすさ (自治会集会所、公民館など)	3.18
運動施設への行きやすさ (体育館、フィットネスなど)	3.13
娯楽・遊戯施設への行きやすさ (カラオケ、パチンコなど)	2.58
平均値	3.75

※回答のうち、重要である=5(点)、やや重要である=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、あまり重要でない=2(点)、重要でない=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【満足度と重要度のまとめ】

各設問項目の満足度と重要度をみると、「1、食料品や日用品の買い物への行きやすさ」や「6、金融機関への行きやすさ」、「9、診療所への行きやすさ」などは、満足度、重要度ともに点数が高い項目となっているため、今後も継続的に取組みを進めていくことが重要であると考えられる。

また、「11、娯楽・遊戯施設への行きやすさ」や「16、近隣住民と交流する場への行きやすさ」などは、満足度、重要度ともに点数が低い項目となっているので、中長期的に取組みを進めていく必要があると考えられる。

なお、本設問の回答については、回答者の属性のうち、「居住地域」及び「年齢・年代」に大きく影響を受けるものと推察される。今後、さらなるデータ分析を行い、都市機能を集約したコンパクトシティの実現に向けての基礎資料としたい。

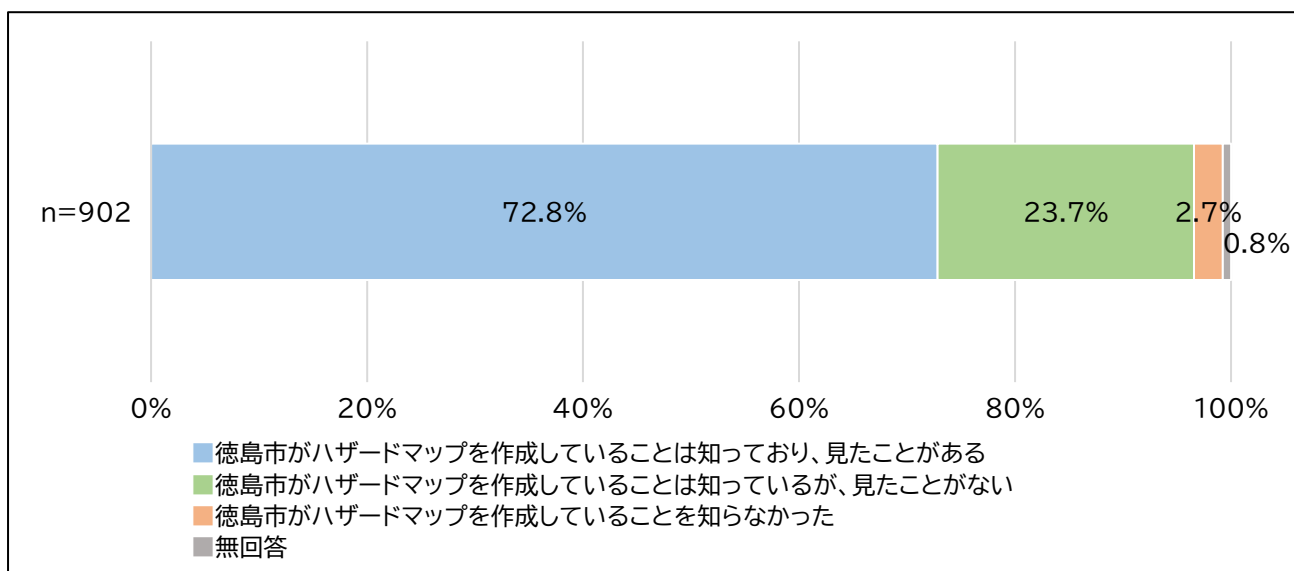
◇各設問の満足度と重要度

設問項目	満足度	重要度
1、食料品や日用品の買い物への行きやすさ (スーパー、コンビニ、ドラッグストアなど)	3.91	4.61
2、衣服、家具家電等の買い物への行きやすさ (専門店、ショッピングモールなど)	3.35	4.12
3、飲食店への行きやすさ (食堂、レストランなど)	3.43	3.77
4、生活関連サービス店への行きやすさ (美容室、クリーニング店など)	3.67	3.83
5、郵便局への行きやすさ	3.54	3.99
6、金融機関への行きやすさ (銀行、銀行ATM、信用金庫など)	3.68	4.24
7、児童福祉施設への行きやすさ (保育所、子育て支援センター、児童館など)	3.13	3.39
8、高齢者福祉施設への行きやすさ (デイサービスなど)	3.12	3.33
9、診療所への行きやすさ (内科、歯医者など)	3.74	4.26
10、病院への行きやすさ (総合病院、救急病院など)	3.49	4.27
11、娯楽・遊戯施設への行きやすさ (カラオケ、パチンコなど)	3.15	2.58
12、運動施設への行きやすさ (体育館、フィットネスなど)	3.03	3.13
13、文化・芸術施設への行きやすさ (図書館、美術館、博物館など)	2.92	3.48
14、公園・広場・緑地への行きやすさ	3.09	3.63
15、学校(幼・小・中・高)への行きやすさ	3.44	3.87
16、近隣住民と交流する場への行きやすさ (自治会集会所、公民館など)	3.19	3.18
17、行政機関の窓口への行きやすさ (徳島市役所、支所など)	3.10	4.00
平均値	3.35	3.75

5 防災まちづくり

(1) ハザードマップの認知度(1つに〇)

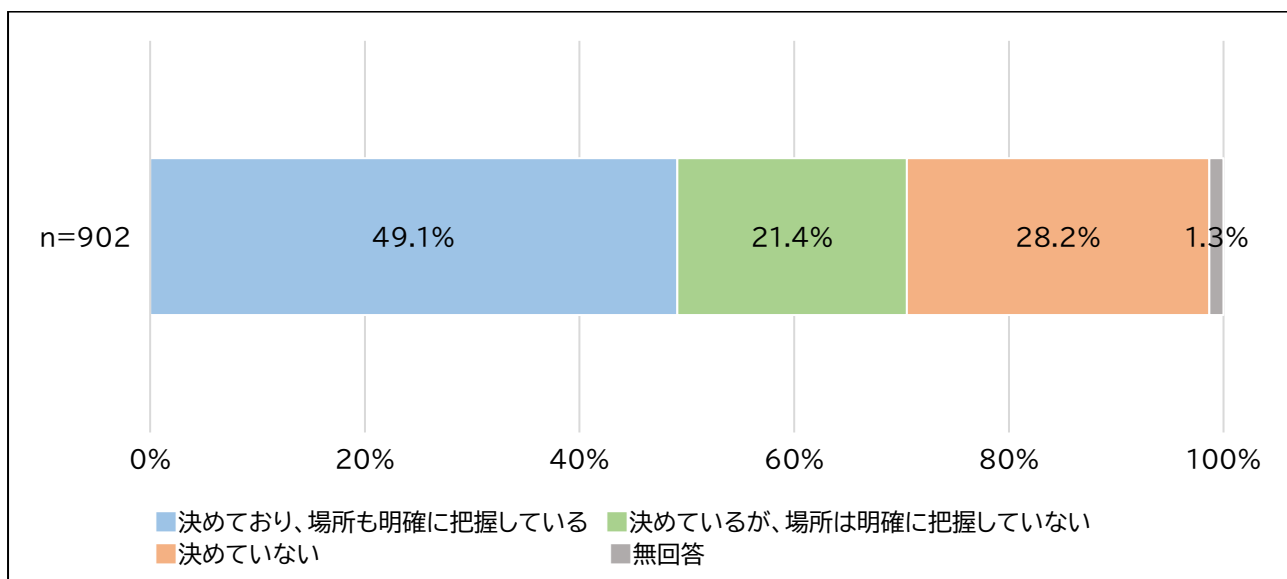
ハザードマップの認知度をみると、「徳島市がハザードマップを作成していることは知っており、見たことがある」が72.8%と最も多くなっている。



(2) 津波発生時に避難する津波避難ビル・緊急避難場所(1つに〇)

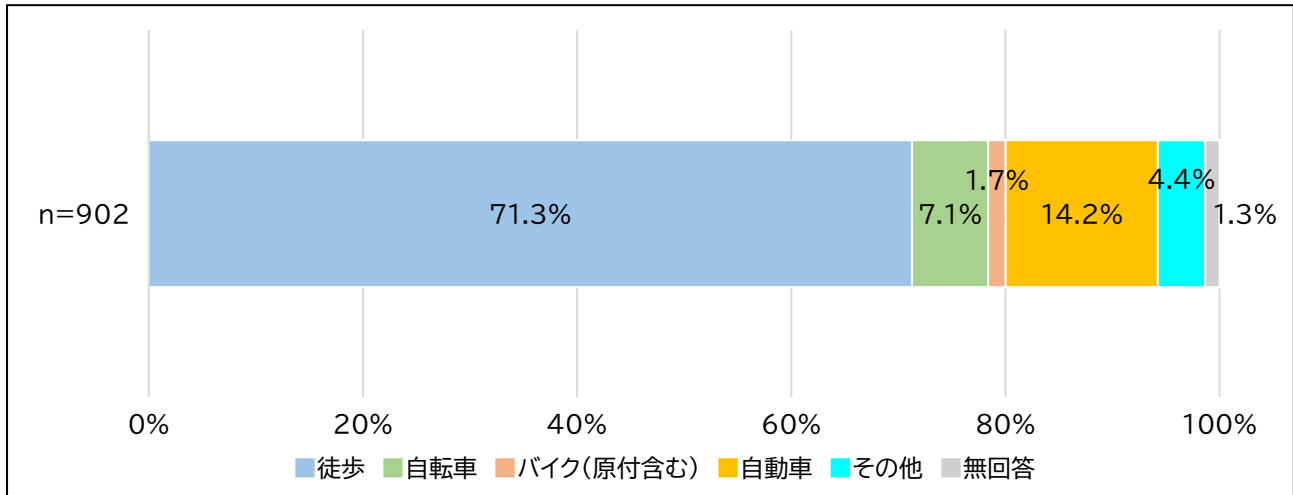
津波発生時に避難する津波避難ビル・緊急避難場所をみると、「決めており、場所も明確に把握している」が49.1%となっている。

一方、「決めていない」は28.2%となっており、津波発生時の避難場所を決めていない人も一定数いる。



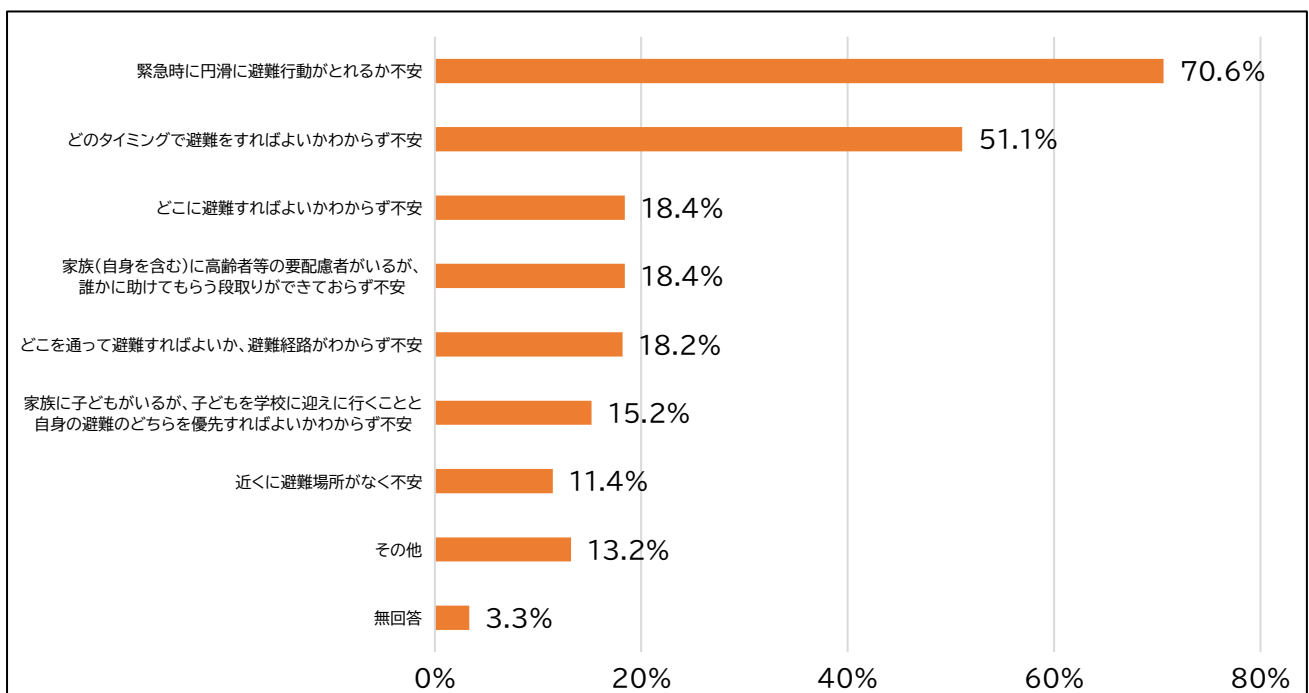
(3) 津波発生時に緊急で避難する際の移動手段(1つに○)

津波発生時に緊急で避難する際の移動手段をみると、「徒歩」が71.3%と非常に多くっており、次いで「自動車」が14.2%となっている。



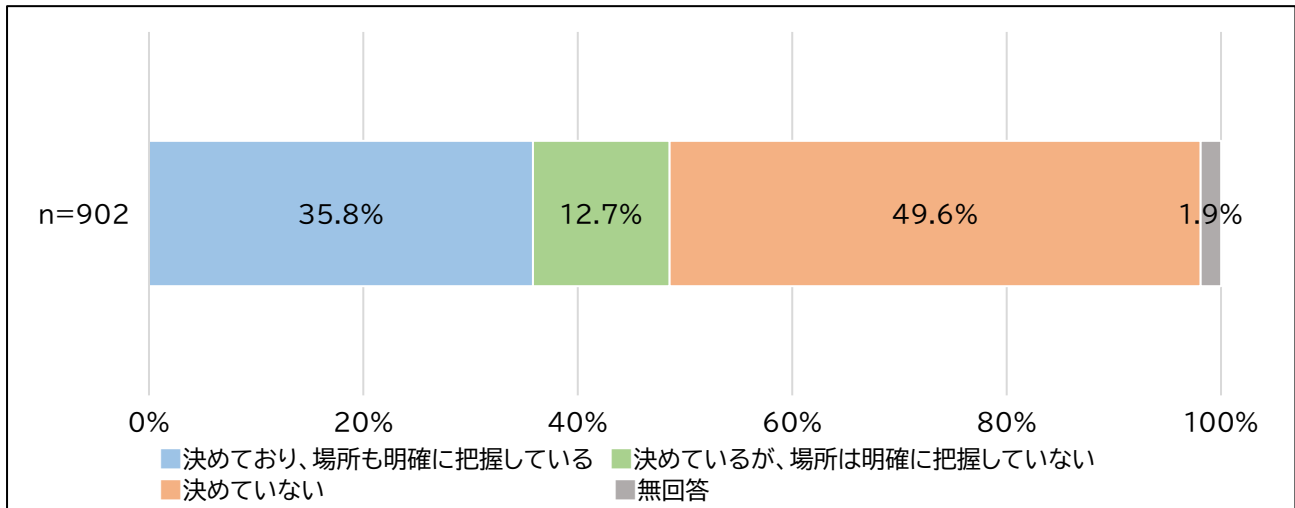
(4) 津波発生時に緊急で避難する際の不安(該当するものすべてに○)

津波発生時に緊急で避難する際の不安をみると、「緊急時に円滑に避難行動がとれるか不安」が70.6%と最も多く、次いで「どのタイミングで避難をすればよいかわからず不安」が51.1%となっている。



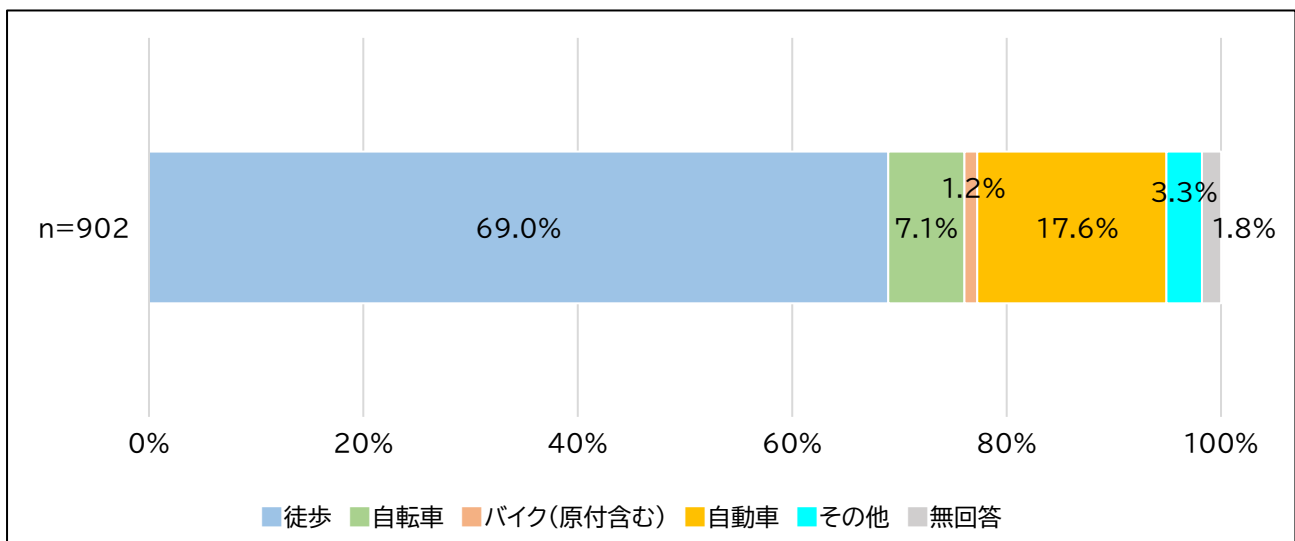
(5) 災害発生時に一定の期間、避難する避難所(1つに〇)

災害発生時に一定の期間、避難する避難所をみると、「決めていない」が49.6%と最も多く、半数弱は災害発生時の避難場所を決めていない状況である。



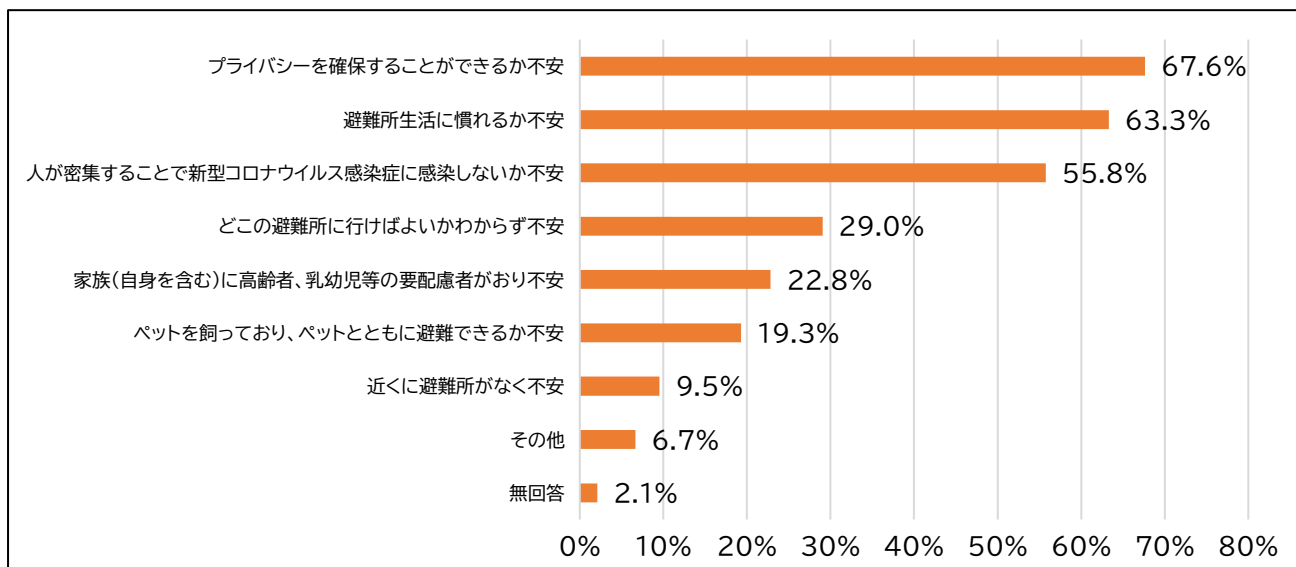
(6) 避難所に避難する際の移動手段(1つに〇)

避難所に避難する際の移動手段をみると、「徒歩」が69.0%と非常に多く、次いで「自動車」が17.6%となっている。



(7) 一定の期間、避難所に避難する際の不安(該当するものすべてに○)

一定の期間、避難所に避難する際の不安をみると、「プライバシーを確保することができるか不安」が67.6%と最も多く、次いで「避難生活に慣れるか不安」が63.3%、「人が密集することで新型コロナウイルス感染症に感染しないか不安」が55.8%となっている。

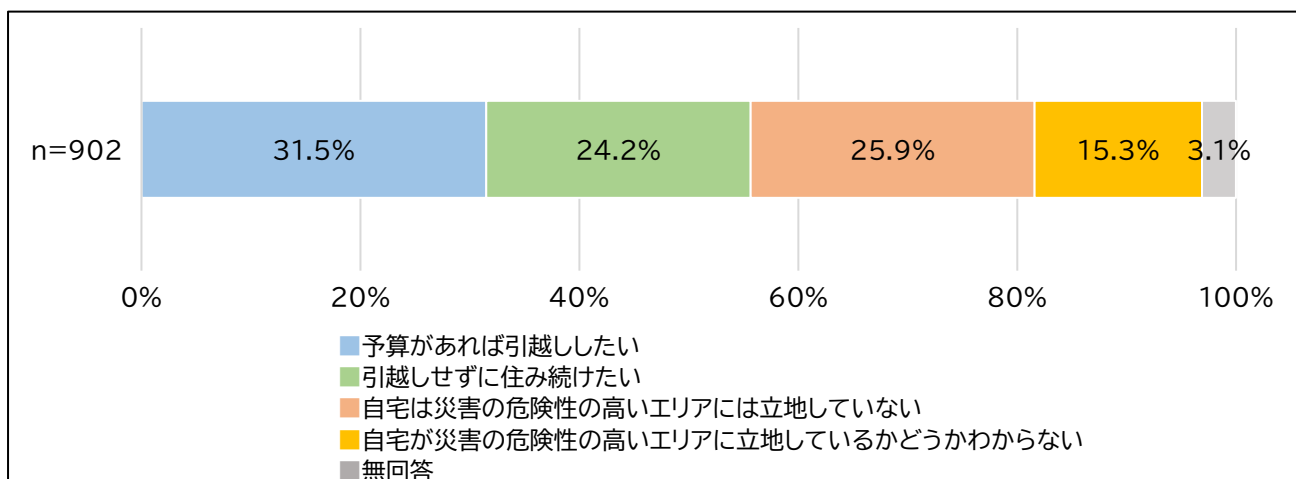


(8) 災害の危険性の高いエリアにおける将来の引越し(1つに○)

災害の危険性の高いエリアにおける将来の引越しをみると、「予算があれば引越したい」が31.5%と最も多くなっている。

一方、「引越しせずに住み続けたい」は24.2%となっており、災害の危険性の高いエリアであっても住み続けることを希望する人も一定数いる。

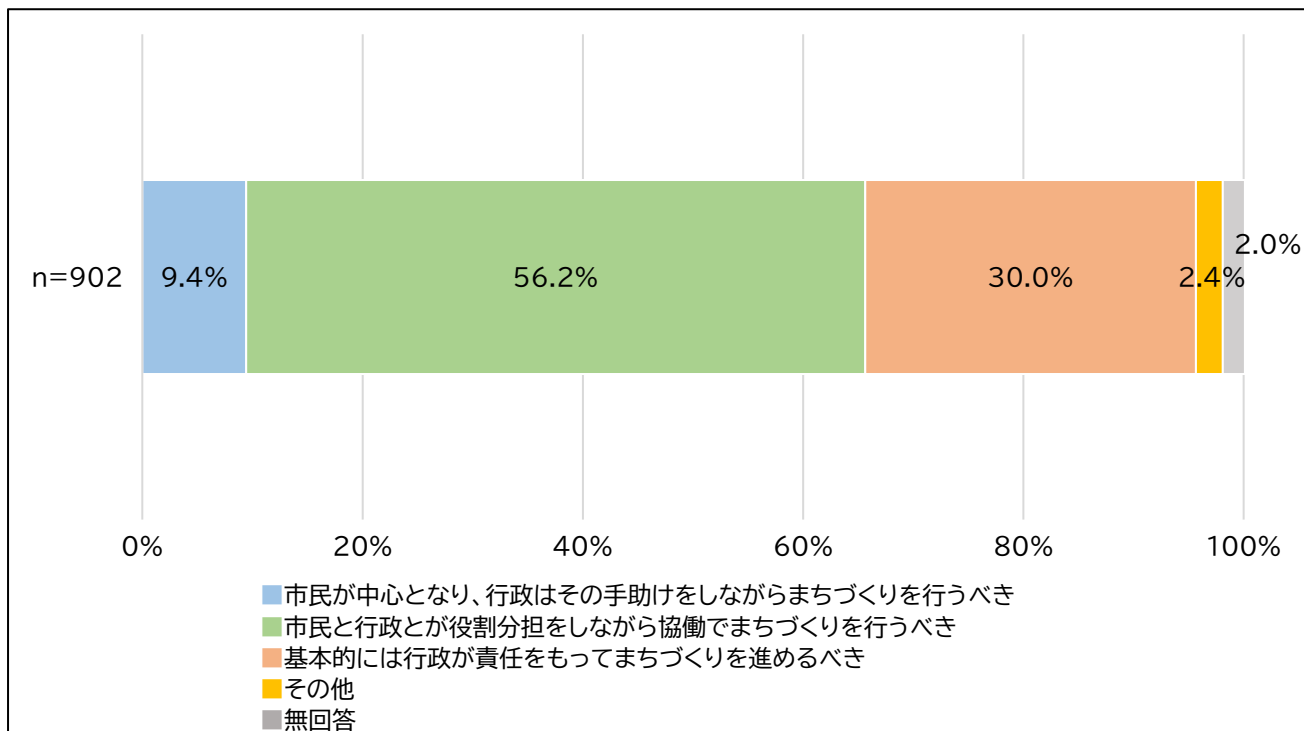
本設問の回答については、「居住地域」に大きく影響を受けるものであるため、今後、さらなるデータ分析が必要であり、市民ワークショップ(地域別意見交換会)での議論にも取り入れていきたいと考えている。



6 まちづくりの進め方

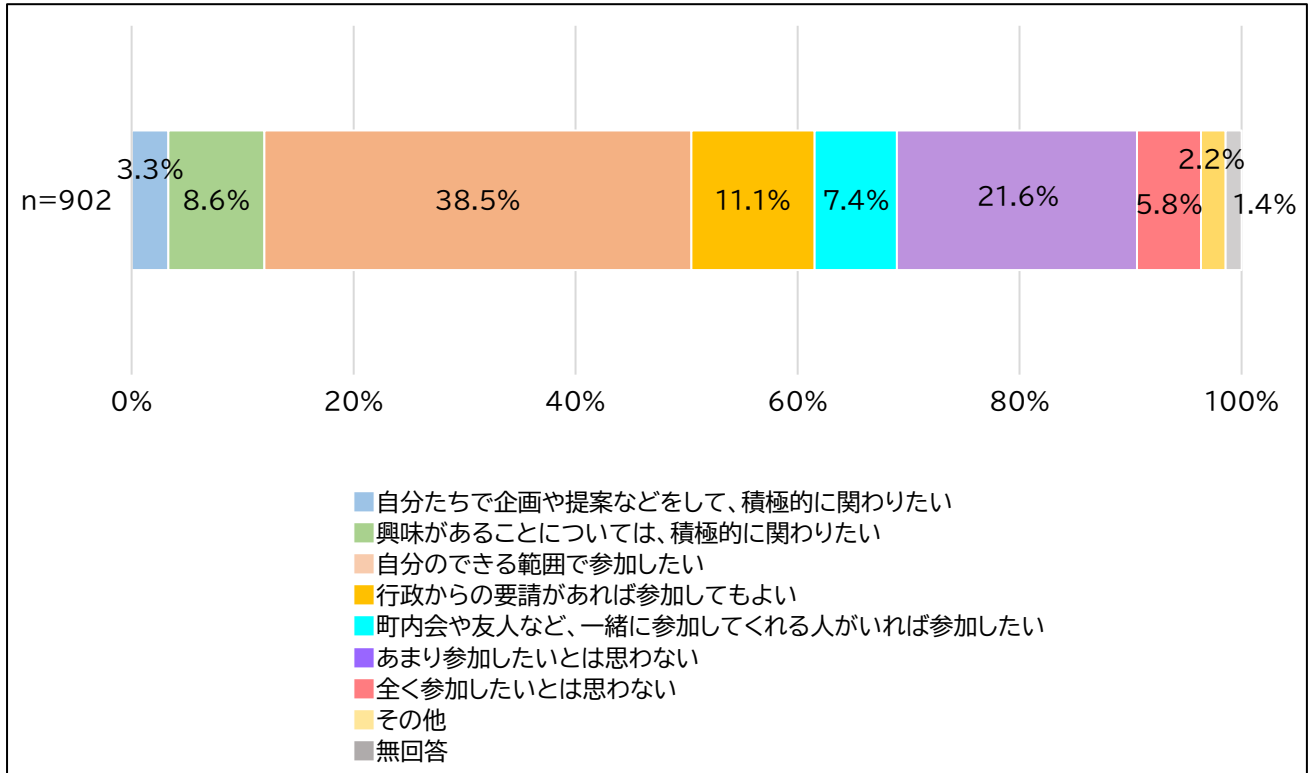
(1) 市民と行政の役割分担(1つに〇)

市民と行政の役割分担をみると、「市民と行政とが役割分担をしながら協働でまちづくりを行うべき」が56.2%と最も多く、「市民が中心となり、行政はその手助けをしながらまちづくりを行うべき」が9.4%となっており、まちづくりに対する意識が高い市民も多くいる。



(2) まちづくりへの参加(1つに〇)

まちづくりへの参加をみると、「自分のできる範囲で参加したい」が38.5%と最も多くなっている。「自分たちで企画や提案などをして、積極的に関わりたい」、「興味があることについては、積極的に関わりたい」、「自分のできる範囲で参加したい」を合わせると50.4%となっており、まちづくりへの積極的な参加を希望する人が半数を超えている。



7 まちづくりに関するご意見・ご提言等(自由記述)

【お住まいの地区について】

※アンケート調査票に記述のまま記載しています。

町内会活動が少ないと思う。レクリエーションなども無く交流の機会があってもいいのではと思う。
地震の津波の事が一番心配です。自転車で通勤していますが自転車道の整備をしてほしいと思います。コミュニティセンターの活用を地域住民と、行政もかかわって、活発に行い、憩いの場となると良いのと思います。
不審者情報を聞くことがあり、子どもが小学生なので、安心・安全に守れる町にしたいと思います。
高齢者、障害者の方達が孤立しない町にしたい福祉の充実も大切ですが、近隣の住民の助け合いも重要だと思います、特に高齢で一人暮らしの家や、持病がある方達をサポートしやすい環境にして頂きたいです、高齢者が増え、医療も逼迫するなか、在宅医療やボランティアの充実を望みます、また、近隣の住民がサポートできるシステムを作って頂きたいです。
歩道の幅が広がったり、狭かったりとウォーキングをしていると自転車とすれちがったり…など危ないと思う時がある。又、道のでこぼこが多くあり、もう何年も舗装されてなかったり除草されてなかったり、歩きにくいところがよくある。もっと歩きやすい道がほしいと思う。
街灯がなく、夜はまっくら。子供たちが危険だと思う。市道の草刈り回数が少なすぎる。学生(自転車)が多いのに草がのびすぎて道幅が半分くらいになっていて、あぶない。
道が狭く、自転車や徒歩での移動に困難を感じる。自転車での通勤・通学をしている人が沢山いるが自動車を運転していて危ないと思う。
自然豊かな町であり、開発などは望んでいませんが、公園施設の充実を図ってほしい。遊具を増やす、定期的な清掃、点検作業等。
高齢者が多く、交通手段がないので、バスや安いタクシーが重要になってくる。でも、バス停までも遠く、歩いて行くのも大変です。道路が整備されていないし、狭い道は危険だと思います。同じ場所で何度も交通事故があっても改善されていない。
津波対策を強化してほしい。地震や津波を想定した避難訓練を実施してほしい(小中学校の協力の元、町内で行ってほしい)。津波到達時間がどれくらいなのか知りたい。
朝夕に、抜け道としての利用者が多く、スピードの出すぎなどマナーが悪い、通学通園の子どもたちの目線での町づくりをお願いしたい。また、カーブミラーや街灯の設置についてもルールの見直し、現場での対応を心がけてほしい。
現在は車があるので不便を感じることは少ないが、近所にスーパーもなく、かかりつけ医もないので、車が利用できなくなった場合、外に出て行くことができない、バスもほとんどなく、買い物できなくなる不安がある。
私が住んでいる所は徳バス、市バスの回数は1日に数本しか通ってなくて、徳島市内とは申せ、とても不便で移動手段としては、乗用車が無くてはほとんど何も出来ません。又、地区は高齢者の方が目立ちます。(私も高齢者の1人ですが)何かあったら本当に大変です。ご近所助け合って行きたいです。
空き家や耕作放棄地が目立つので、有意義な活用方法を提案し実行してほしい。地域住宅の耐震化の推進と下水道の整備をお願いします。
避難は基本徒歩ですとは理解していますが、自宅付近に避難所がないため(最寄り避難所まで2km以上)高齢者(足腰の悪い)幼児と共に荷物を持つての避難は不可能です。学校、公民館等、既存施設を避難所とした場合、近隣の住民はすぐに行けるが、離れているとなかなか歩いて(台風時は特に)行くことはできないので不公平感がある。また、収容人数も限りがあるので、行っても入れるのか心配。
静かで、それほど住みづらいとは思わない。今の所車の運転もできるので不安はないが、今後高齢者になった時には、金融機関、医療、役所、すべてが近くにないため心配なことは多い。スーパーなど買い物も不便になると考えられる。
河川氾濫により浸水する地域となっています。ハザードマップを示すのみでなく、どのような時に避難が必要であるか、平屋の方、2F建の方、もう少し具体的な避難計画を示していただきたい。「徳島市全域に避難指示」といわれても、本当に全員が避難すれば避難所は大変なことになる。また避難のための移動の際にも危険が生じる。「避難指示」とはどのような対象であるか、明確化しておいて欲しいと切に望む。
子供から大人までが自由に、気持ちよく集える緑豊かな公園をつくっていただきたい。ウォーキング、ジョギング、ペットの散歩、ちょっとした屋外スポーツ、噴水などの水遊び場など、皆のいこいの場が家の近くにあるといいと思います。
私の地域は駅からは近いですが、バス停は非常に遠いです。街中に飲みに行くのもタクシーが基本になるので出来れば近くにバス停があればうれしいです。

【徳島市全体について】

※アンケート調査票に記述のまま記載しています。

徳島の自然豊かな地域性が好きです。ICTは今後も益々発展していくと思いますが、自然と共存しながら便利な地域になると良いなあと思います。東京や大阪を目指す必要はないと思いますし、あえて、自然の豊かさや、食の豊かさ、癒される地域を目指しても良いのではと思います。これまでの物質欲の世の中から、精神性を豊かにする(出来る)世の中に変っていくと思っていますので、他の地域の一步先を行く、目指すべき方向性を市長さん中心に決めていけると良いですね。
南海トラフに対する防災の対策が一番重要に思います。10、20年後の徳島を想像するなかでも避けることのできない事なので、まずは人命を最優先にした、まちづくりをお願いします。今の避難場所では充分だと思えません。市内の災害拠点病院の広さだけでは、傷病者の受け入れも困難だと思います。想定を上回る規模だと思うので残された時間の中で、しっかり取り組んでいただきたいです。
徳島駅周辺に無料の駐車場が少なく不便。道路がせまくて車で通るのが怖い。
田舎らしさを残しつつ、川のある町として、もっと住み良い町になっていったらいいなと思います。田舎で不便、車でしか移動出来ない、はマイナス面ですが、何かレンタサイクルとか、川の移動とか、カーシェアリングなど小回りの効くサービスがあればいいなと思います。
仕事柄、厳しい家庭環境の子どもたちに触れることが多い。昔と比べてその増減がどうであるかは分からないが、人口が減っている徳島では、一人一人の子どもたちの存在がより大切。教育、子育て、福祉にもっと重点を置いてまちづくりを進めるべきだと思う。
人口減少、高齢化が進み、コンパクトな街づくりが今後は必要となる。街中居住を誘導し、効率的な行政運営が必要である。徳島駅前に駐車場が少なく、あっても駐車料金が高く、自動車で駅に行く気にならない。朝の通勤時のバイパスの渋滞を緩和してほしい。交通マナーが悪い。警察の見守りの頻度を増やしてほしい。
徳島市中心部にもっと活気をとり戻してほしい。もっと、魅力的な街になるといいのだけれど。徳島市の観光スポットも少ないし、県外から来て徳島市でどこに行こうかとなった時、何も思いつかない。
電子申請、各種証明書の受け渡しをオンラインでできるようにしてほしい。住みやすい町であると思うので、企業誘致や新ビジネスの発注出来る場所として、若者が住みたい町づくりをしてほしい。
空地の有効利用を考えた方が良くと思う、空地を民間に貸すなり、お金の発生する財産として民間の知恵を借りながら、柔軟な土地活用をして市民の財産を有効に利用することが必要と思う。
もう少し交通機関が充実し、自転車や徒歩の移動が安全に出来るようになればいいなと思います。道が狭く自転車や徒歩が危険な道が多いと思います。
道路・水道・ゴミ処理などのインフラ整備にはしっかり予算をつけて粛々と施行して行って欲しい。市街化調整区域の規制が厳しすぎる。線引きの見直しや撤廃も検討して欲しい。という要望は多いはず。
早く駅前を何とか盛り上げてほしい。同じく東新町等アーケード内もシャッター通りと呼ばれないよう、全体的に活気ある街作りをお願いしたいです。市長さんに期待しています。
徳島市全体としては川があり道路的には渋滞に巻きこまれやすいが、車社会の為、一点集中で繁栄させれば、川と街のおりなす素敵空間は成功すると思う。特に万代中央心頭の景観、倉庫、駐車場も条件は良い場所だと思うので、そのエリアに個人経営のカフェや、インテリアショップ、ファミレスを集中させるといいと思う。夜は少しライトアップを入れる等してほしい。駐車場だけは必ず無料でないと徳島県民は来ないと思われれます。
自然が多くて食べ物もおいしくてよい。観光地が少ないのでせめてキレイに保ってほしい。移動については自転車や歩き、車でないと動きづらい。
楽しいイベント等があるのに知らない人が多い。もっと宣伝して周知したらいいと思う。
まちづくりは地域に住んでいる人の意見を取り入れたり、地域の人々の協力を得て参加型のまち作りが大事だと思います。活動するのは、若者です、若い人の意見に耳を傾けてほしい。高齢者が多くなる未来、高齢者の動きやすいまち作りもして欲しいと思います。
コンサートや観劇ができるような、ホールの建設を早急に実現して欲しい。阿波踊りやアニメ等、県外に発信してもっと盛り上がるような、財産がたくさんあるように感じる。アフターコロナになれば、もっと徳島市を盛り上げていければと思う。
自家用車を持っていないと移動が困難。車が多いので、バスの利用が一段と利用しづらい。時間通りに乗れない。
バリアフリー化をすすめ障害者、高齢者、幼児などにやさしい町に。
災害弱者の避難、被災に関して、徳島市として常日頃から(地震津波台風、豪雨等々)の危険性とか備え等を呼びかけて行かなくてはならないのではないのでしょうか。災害情報をもっと円滑に進めて行く事を望む。
自転車用の道路を作ってほしい。通勤・通学に自転車を使うことでCO ₂ 排出量削減、ガソリン節約、環境保全に貢献できる、自転車のまちにしてほしいです。健康づくりにも役立つと考えます。交通渋滞緩和、美しい街並みをゆったりと心の余裕をもって自転車に乗りたいたいですね。
車がないと何も出来ずどこにも行けない。高齢になっても車を運転しなければいけないんだな、と不安になります。車の維持費も必要だし、バス等は減便で悪循環です。タクシーすら減っています。
自然災害に強い安心して住めること。
市内の渋滞が多く、環状道路の整備を早く進めて頂ければと思います。

Ⅱ 事業所アンケート

③ 調査概要

1 調査の目的

「徳島市都市計画マスタープラン」の見直しに向け、まちづくりへの評価、事業所周辺での課題や、今後の事業計画、まちづくりへの参画について、事業所の意向・意見を把握し、徳島市都市計画マスタープランに反映させるため。

2 調査の概要

調査の概要は次のとおりである。

調査手法	アンケート調査 配布・回収ともに郵送方式による
調査対象	事業所 500 社(業種、規模等を考慮して抽出)
調査期間	令和3年7月 21日(水)～8月 10日(火)
実施主体	徳島市

3 回収状況

調査票の回収状況は次のとおりである。

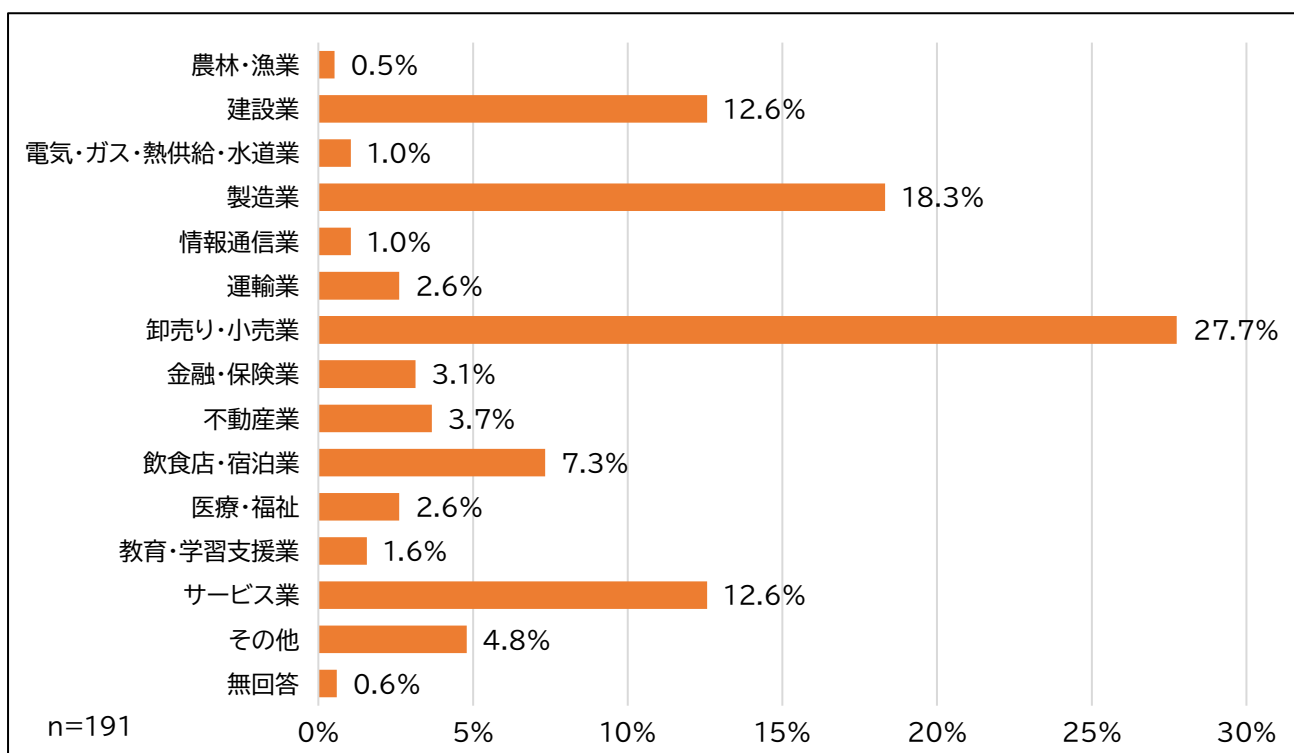
配布数	回収数	回収率
500 件	191 件	38.2%

④ 調査結果

1 回答事業所の属性

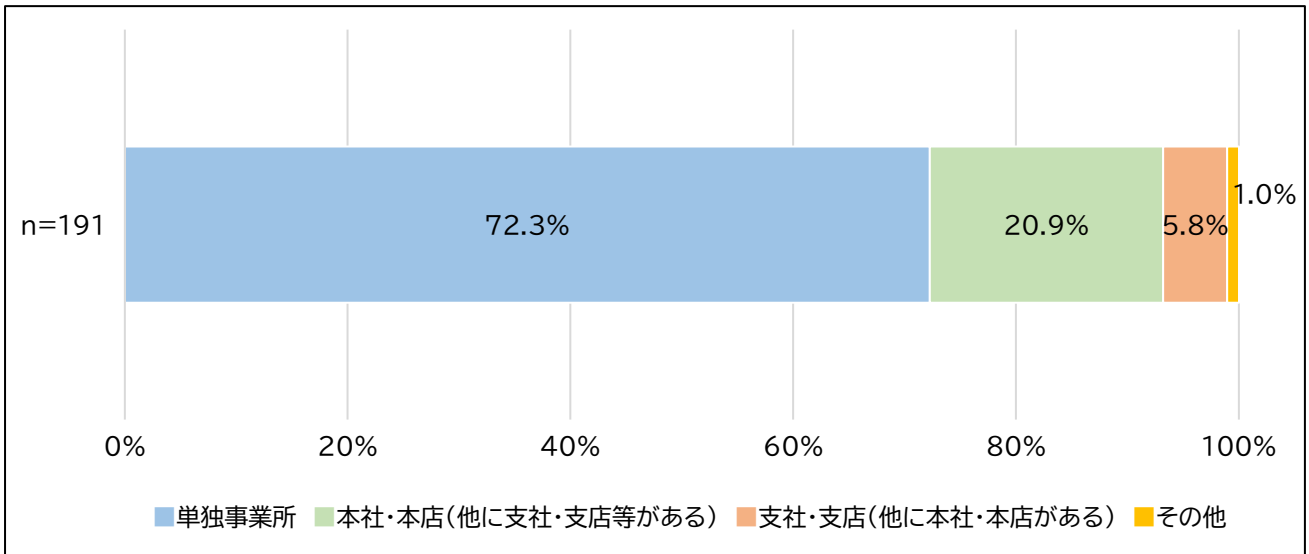
(1) 主な業種(1つに〇)

主な業種をみると、「卸売り・小売業」が27.7%と最も多く、次いで「製造業」が18.3%、「建設業」と「サービス業」が12.6%となっている。



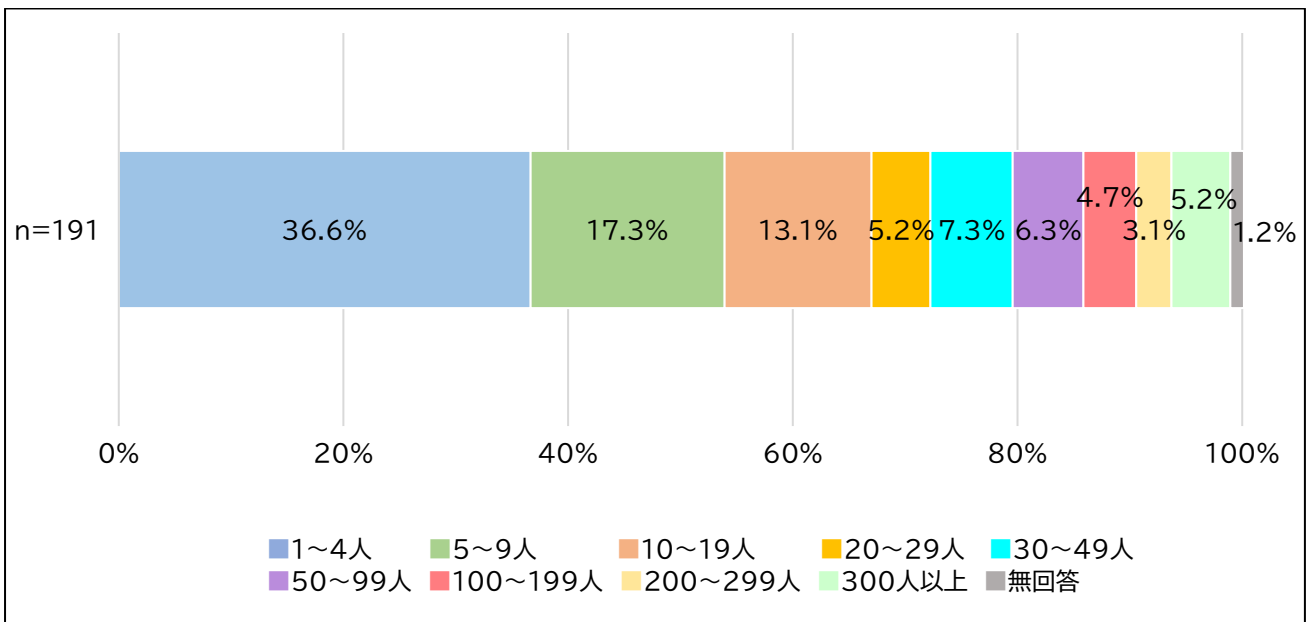
(2) 事業所の形態(1つに○)

事業所の形態をみると、「単独事業所」が72.3%と最も多くなっている。



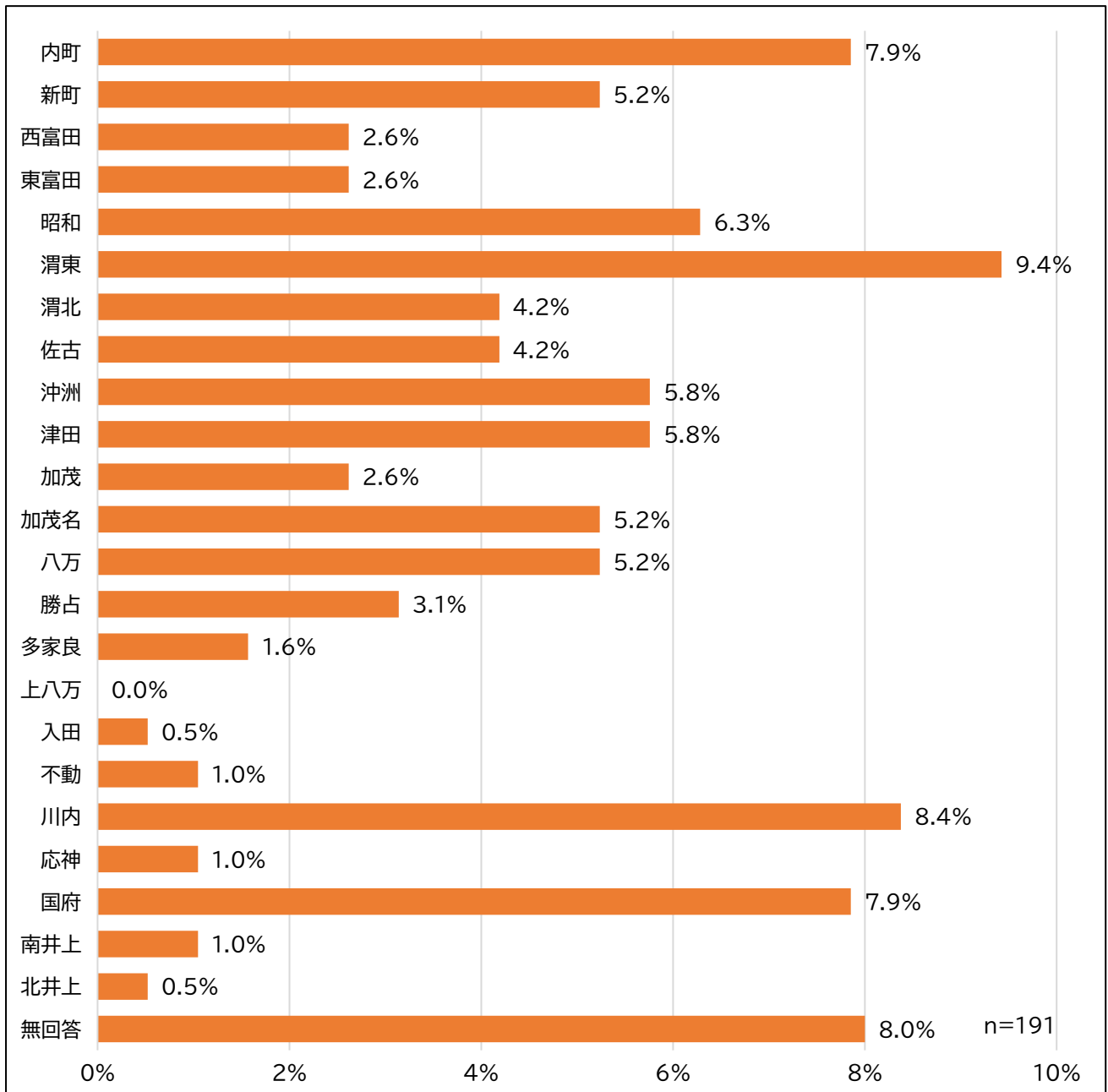
(3) 従業員数(1つに○)

従業員数をみると、「1~4人」が36.6%と最も多くなっている。「1~4人」と「5~9人」を合わせると53.9%と半数を超えており、小規模な事業所が多くなっている。



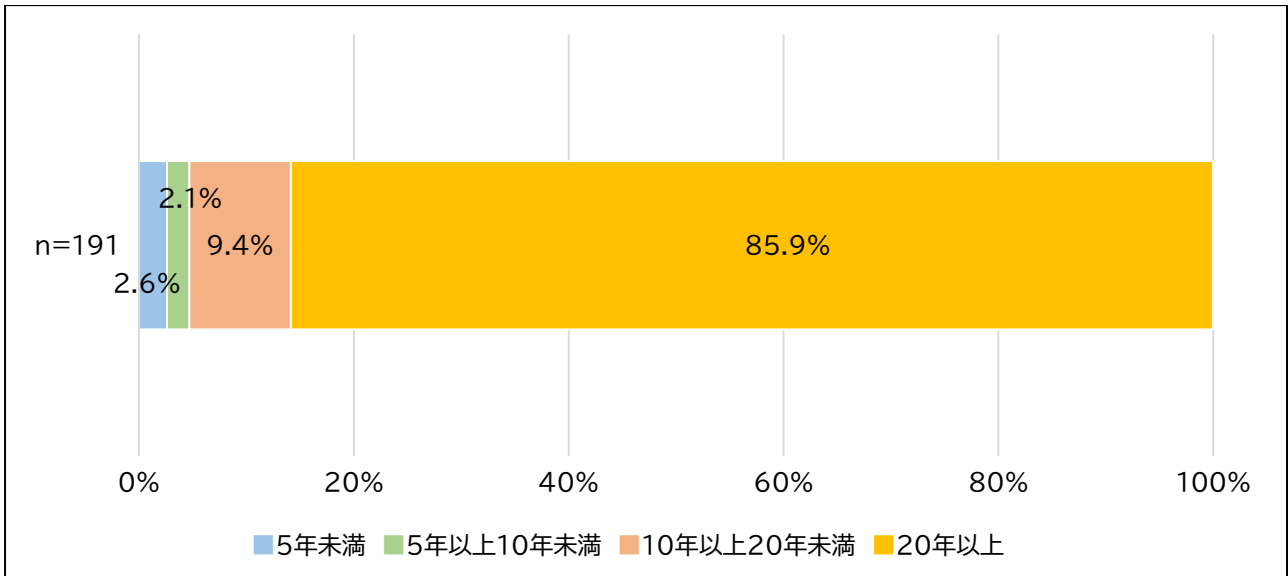
(4) 所在地(1つに○)

所在地をみると、「渭東地区」が9.4%と最も多く、次いで「川内地区」が8.4%、「内町地区」及び「国府地区」が7.9%となっている。



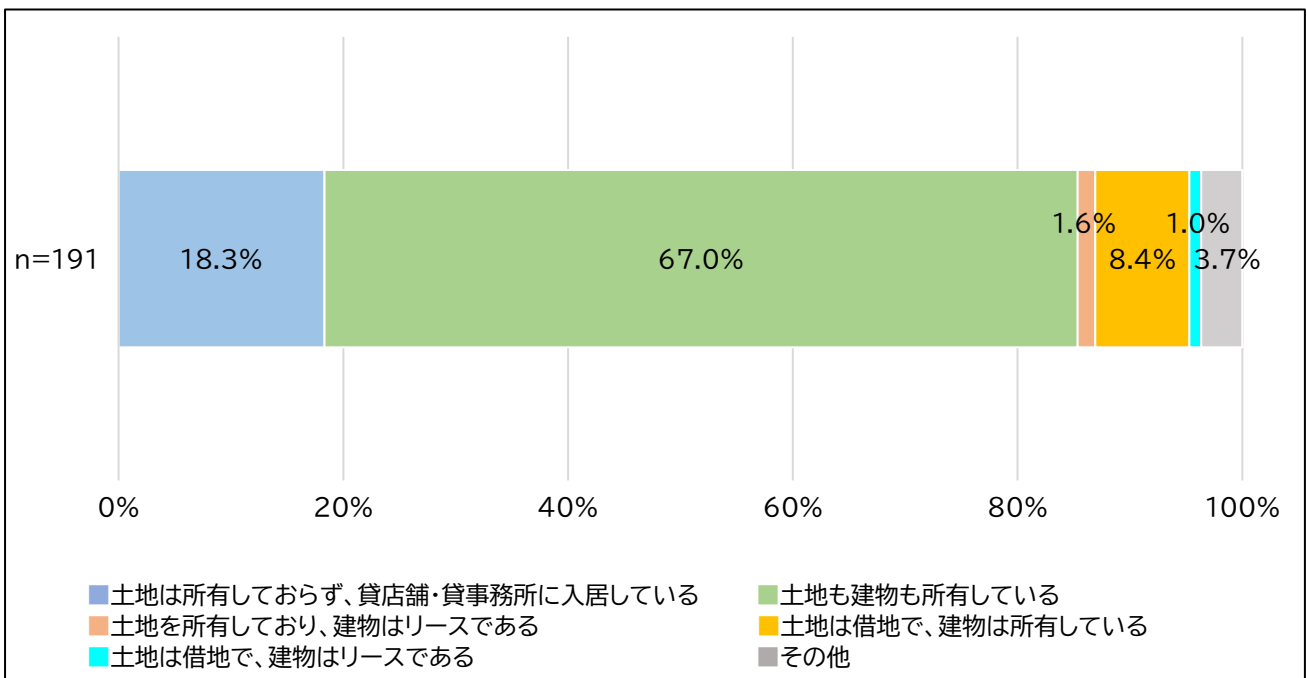
(5) 営業年数(1つに○)

営業年数を見ると、「20年以上」が85.9%と非常に多くっており、長期間、事業を営んでいる事業所が多い。



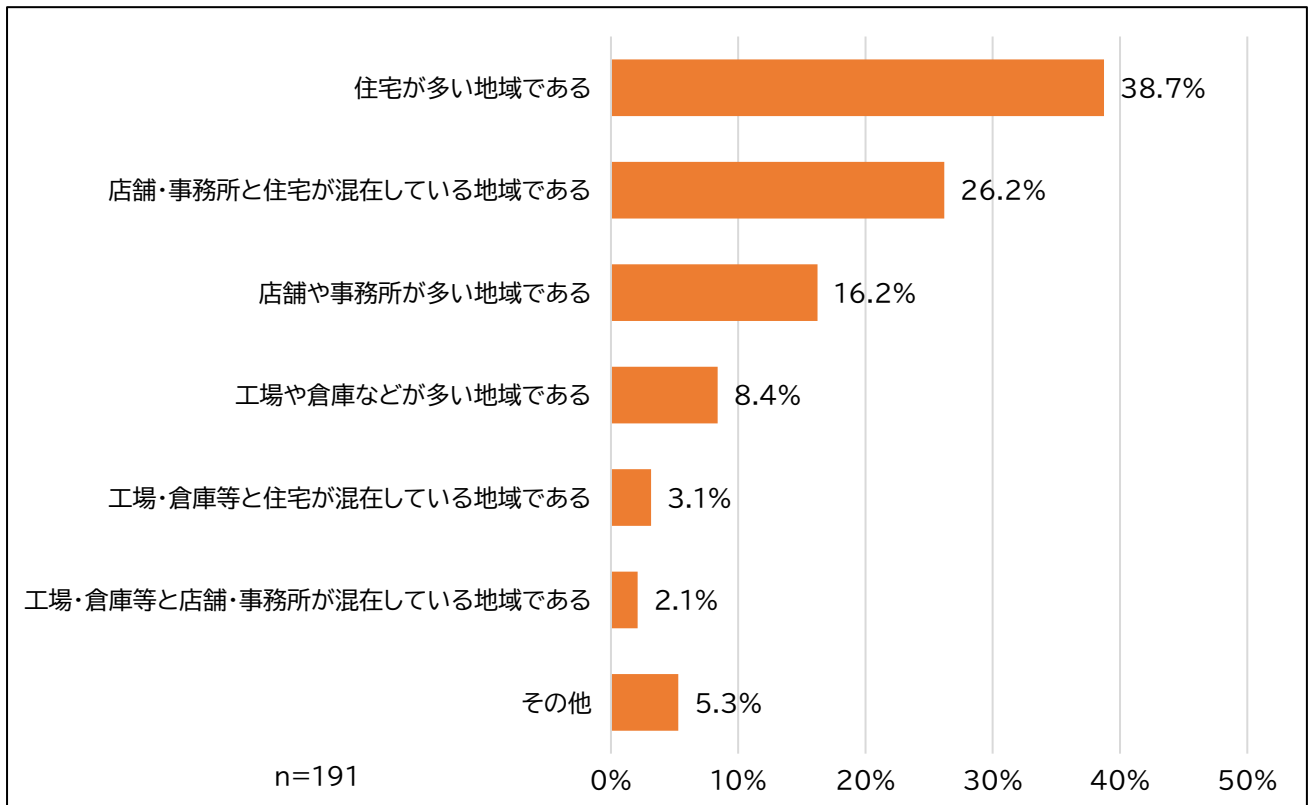
(6) 事務所の建物・用地の所有形態(1つに○)

事業の建物・用地の所有形態を見ると、「土地も建物も所有している」が67.0%と最も多く、半数以上となっている。



(7) 事業所周辺の土地利用(1つに〇)

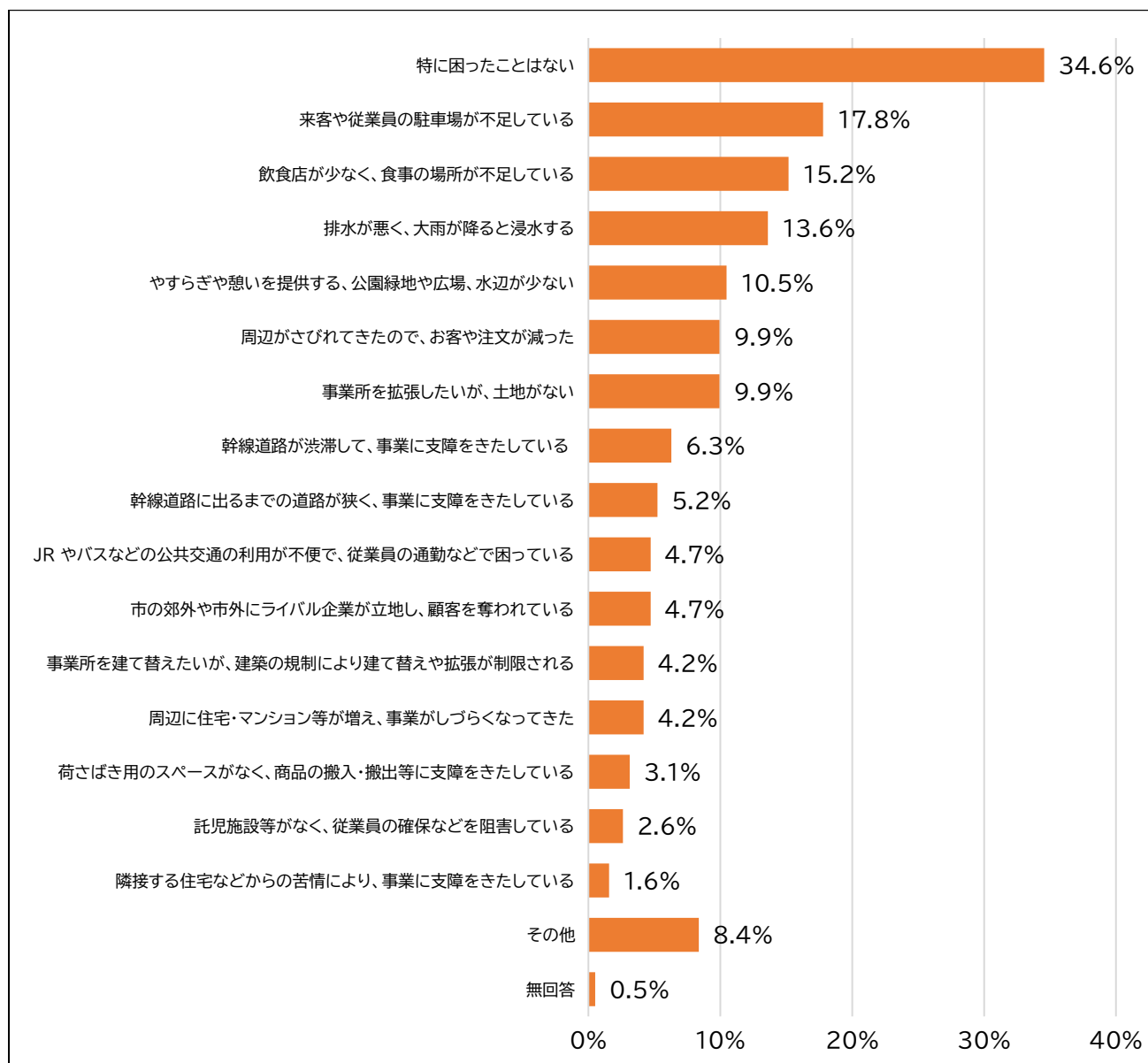
事業所周辺の土地利用をみると、「住宅が多い地域である」が38.7%と最も多く、次いで「店舗・事業所と住宅が混在している地域である」が26.2%となっており、付近に住宅がある地域に立地する事業所が多くなっている。



2 事業所周辺での課題

(1) 事業所周辺で困っていること(該当するものすべてに○)

事業所の周辺で困っていることをみると、「特に困ったことはない」が34.6%と最も多いが、「来客や従業員の駐車場が不足している」が17.8%、「飲食店が少なく、食事の場所が不足している」が15.2%となっている。



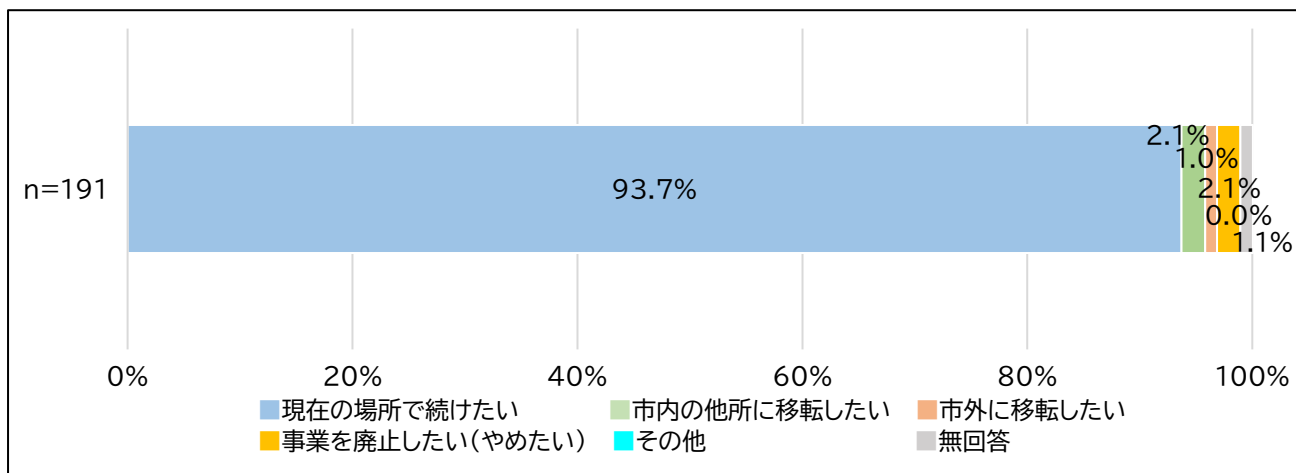
■「その他」の具体的な内容

- ・猫が多くてこまっている
- ・産廃業者の悪臭がひどい
- ・隣の空家の樹木の枝葉が伸びてきて迷惑している
- ・通勤時にスクールゾーンが多い など

3 今後の事業計画

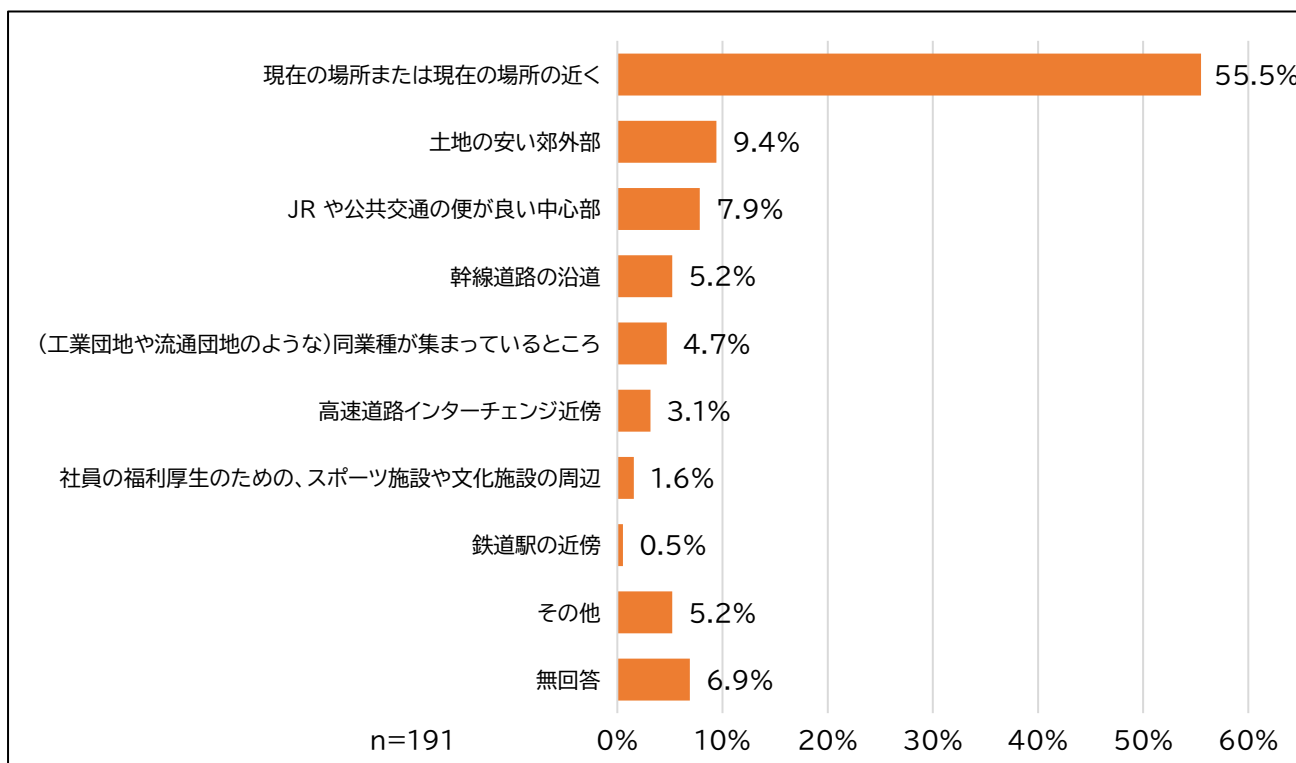
(1) 現在の場所での事業継続(1つに〇)

現在の場所での事業継続をみると、「現在の場所で続けたい」が93.7%となっており、ほとんどの事業所が現在地での事業継続を希望している。



(2) 新たに事業所を開設する場合の場所(1つに〇)

新たに事業所を開設する場合の場所をみると、「現在の場所または現在の場所の近く」が55.5%と最も多くなっている。



4 徳島市のまちづくりへの評価

【満足度】 ※設問項目ごとに1つに○

満足度の上位3位をみると、「コンビニ、飲食店等の利便施設の整備」が 3.43 点と最も高く、次いで「荷さばき用の駐車スペースの確保」、「広域的な移動のための高速道路の整備」となっている。

下位3位をみると、「再開発等による中心市街地の再生」が 1.96 点と最も低く、次いで「空き店舗・空き地等の解消によるまちの活性化」、「渋滞を解消するためのバイパス等の整備」となっている。

◇各設問の満足度の平均点

設問項目	満足度
コンビニ、飲食店等の利便施設の整備	3.43
荷さばき用の駐車スペースの確保	2.99
広域的な移動のための高速道路の整備	2.93
事業所の適正立地のためのルールづくり	2.85
働きながら子育てをしやすい環境の整備	2.81
事業所周辺の道路や幹線道路に至る道路の整備	2.77
若い世代等の定着のための住宅の供給促進	2.76
賃貸料等の事業所立地・事業継続に係る支援	2.76
水害、津波等に対する災害対策の推進	2.71
鉄道やバスの利用のしやすさ	2.62
渋滞を解消するためのバイパス等の整備	2.60
空き店舗・空き地等の解消によるまちの活性化	2.12
再開発等による中心市街地の再生	1.96
平均値	2.72

※回答のうち、満足している=5(点)、やや満足している=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、やや不満である=2(点)、不満である=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【重要度】 ※設問項目ごとに1つに○

重要度の上位3位をみると、「水害、津波等に対する災害対策の推進」が 4.32 点と最も高く、次いで「渋滞を解消するためのバイパス等の整備」、「再開発等による中心市街地の再生」となっている。

下位3位をみると、「事業所の適正立地のためのルールづくり」が 3.36 点と最も低く、次いで「鉄道やバスの利用のしやすさ」、「荷さばき用の駐車スペースの確保」となっている。

◇各設問の重要度の平均点

設問項目	重要度
水害、津波等に対する災害対策の推進	4.32
渋滞を解消するためのバイパス等の整備	4.05
再開発等による中心市街地の再生	3.91
事業所周辺の道路や幹線道路に至る道路の整備	3.91
空き店舗・空き地等の解消によるまちの活性化	3.85
働きながら子育てをしやすい環境の整備	3.79
広域的な移動のための高速道路の整備	3.70
若い世代等の定着のための住宅の供給促進	3.59
賃貸料等の事業所立地・事業継続に係る支援	3.50
コンビニ、飲食店等の利便施設の整備	3.49
荷さばき用の駐車スペースの確保	3.41
鉄道やバスの利用のしやすさ	3.41
事業所の適正立地のためのルールづくり	3.36
平均値	3.72

※回答のうち、重要である=5(点)、やや重要である=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、あまり重要でない=2(点)、重要でない=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【概ね5年前と比較した改善度】 ※設問項目ごとに1つに○

概ね5年前と比較した改善度の上位3位をみると、「コンビニ、飲食店等の利便施設の整備」が3.18点と最も高く、次いで「広域的な移動のための高速道路の整備」、「渋滞を解消するためのバイパス等の整備」となっている。

下位3位をみると、「再開発等による中心市街地の再生」が1.95点と最も低く、次いで「空き店舗・空き地等の解消によるまちの活性化」、「鉄道やバスの利用のしやすさ」となっている。

◇各設問の改善度の平均点

設問項目	概ね5年前と比較した改善度
コンビニ、飲食店等の利便施設の整備	3.18
広域的な移動のための高速道路の整備	3.15
渋滞を解消するためのバイパス等の整備	2.93
事業所の適正立地のためのルールづくり	2.78
賃貸料等の事業所立地・事業継続に係る支援	2.77
働きながら子育てをしやすい環境の整備	2.77
水害、津波等に対する災害対策の推進	2.74
若い世代等の定着のための住宅の供給促進	2.70
荷さばき用の駐車スペースの確保	2.68
事業所周辺の道路や幹線道路に至る道路の整備	2.68
鉄道やバスの利用のしやすさ	2.42
空き店舗・空き地等の解消によるまちの活性化	2.13
再開発等による中心市街地の再生	1.95
平均値	2.68

※回答のうち、改善している=5(点)、やや改善している=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、あまり改善していない=2(点)、改善していない=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【満足度、重要度、概ね5年前と比較した改善度のまとめ】

各設問項目の満足度、重要度、概ね5年前と比較した改善度をみると、「9、空き店舗・空き地等の解消によるまちの活性化」、「10、再開発等による中心市街地の再生」は、満足度と改善度が低く重要度が高い項目となっているため、特に優先的に取組みを進めていく必要があると考えられる。

また、「1、渋滞を解消するためのバイパス等の整備」は概ね5年前と比較した改善度は高いものの、満足度が比較的 low 重要度が高い項目となっているため、優先的な取組みが重要であると考えられる。

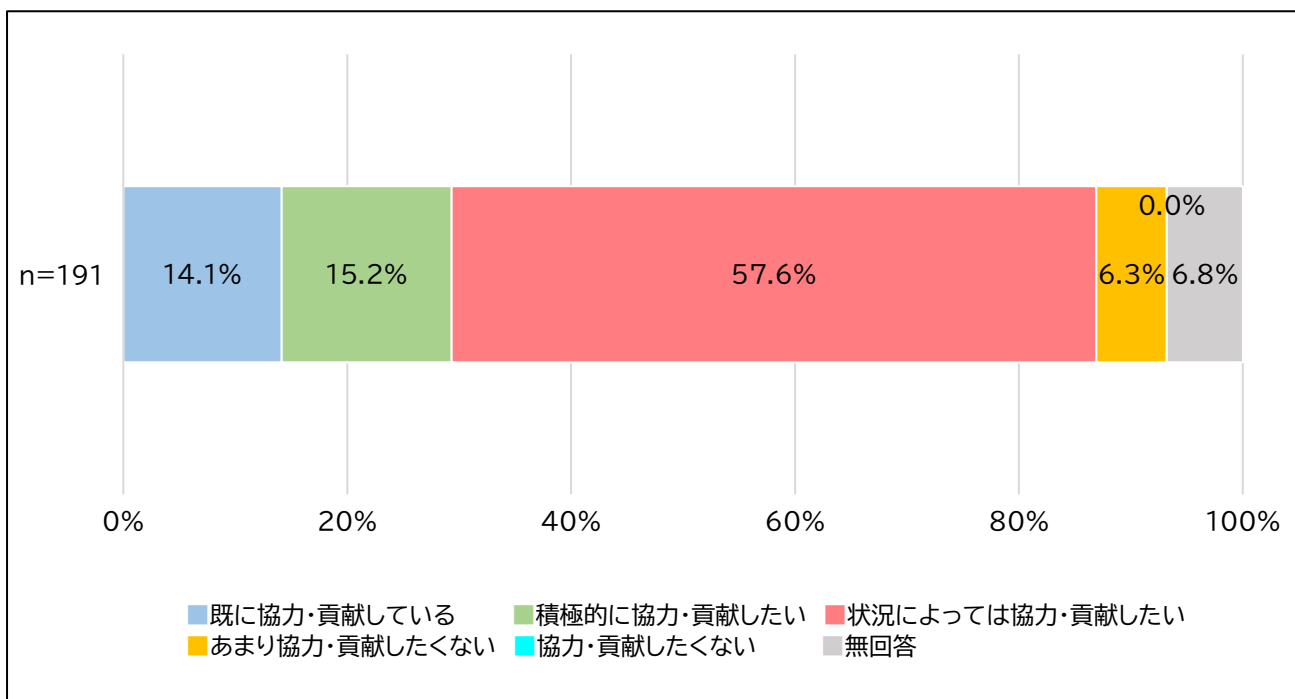
設問項目	満足度	重要度	概ね5年前と比較した改善度
1、渋滞を解消するためのバイパス等の整備	2.60	4.05	2.93
2、広域的な移動のための高速道路の整備	2.93	3.70	3.15
3、事業所周辺の道路や幹線道路に至る道路の整備	2.77	3.91	2.68
4、鉄道やバスの利用のしやすさ	2.62	3.41	2.42
5、荷さばき用の駐車スペースの確保	2.99	3.41	2.68
6、働きながら子育てをしやすい環境の整備	2.81	3.79	2.77
7、若い世代等の定着のための住宅の供給促進	2.76	3.59	2.70
8、コンビニ、飲食店等の利便施設の整備	3.43	3.49	3.18
9、空き店舗・空き地等の解消によるまちの活性化	2.12	3.85	2.13
10、再開発等による中心市街地の再生	1.96	3.91	1.95
11、水害、津波等に対する災害対策の推進	2.71	4.32	2.74
12、事業所の適正立地のためのルールづくり	2.85	3.36	2.78
13、賃貸料等の事業所立地・事業継続に係る支援	2.76	3.50	2.77
平均値	2.72	3.72	2.68

5 事業所のまちづくりへの参画

(1) まちづくりへの協力や貢献(1つに〇)

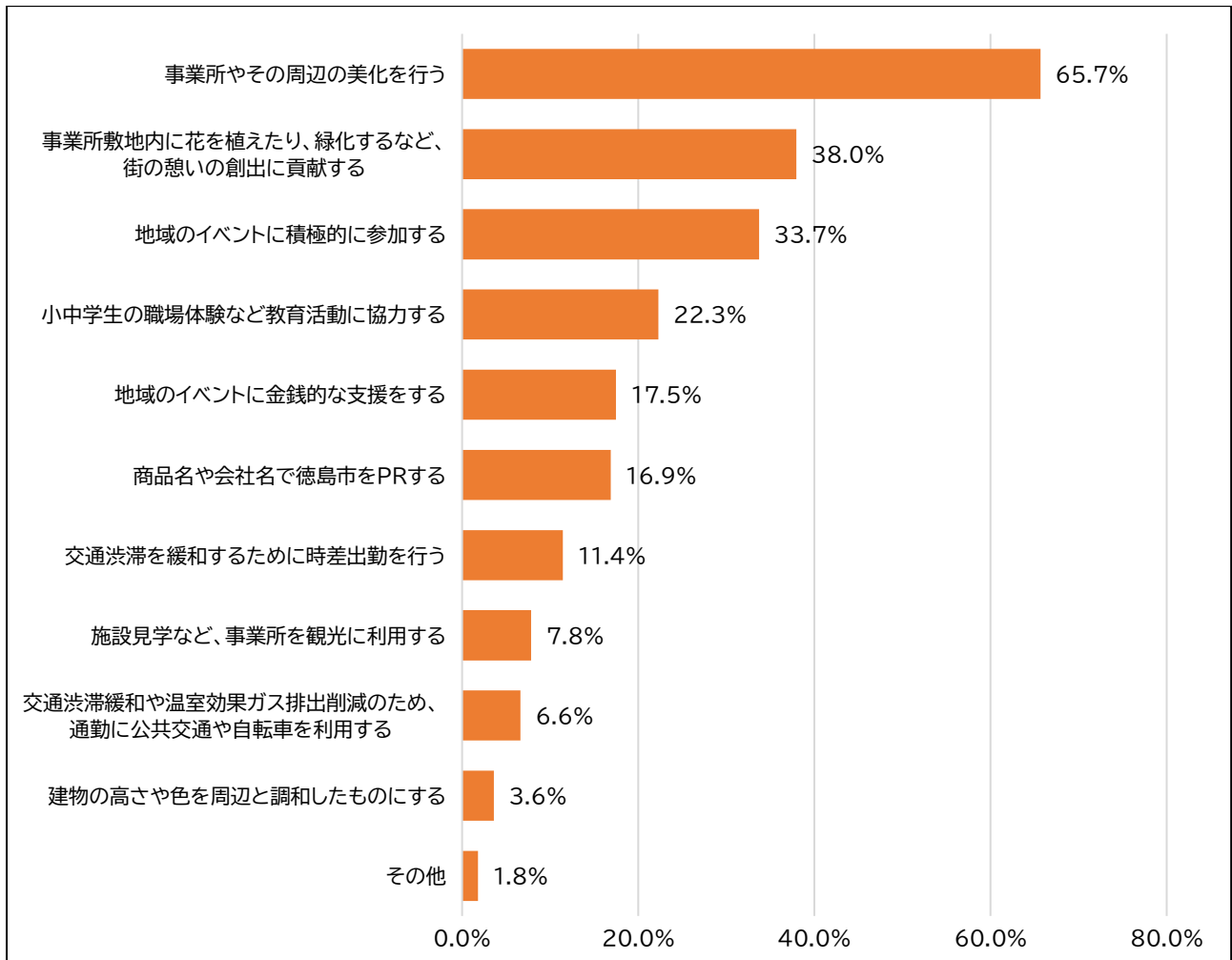
まちづくりへの協力や貢献をみると、「状況によっては協力・貢献したい」が57.6%と最も多くなっている。

また、「既に協力・貢献している」と「積極的に協力・貢献したい」を合わせると29.3%となっており、まちづくりに参画している、若しくはまちづくりに積極的に参画したいと考えている事業所が8割を超えている。



(2) まちづくりに向けての協力(該当するものすべてに○)

まちづくりに向けての協力をみると、「事務所やその周辺の美化を行う」が65.7%と最も多くなっており、次いで「事業所敷地内に花を植えたり、緑化するなど、街の憩いの創出に貢献する」が38.0%、「地域のイベントに積極的に参加する」が33.7%となっている。



※前頁の「まちづくりへの協力や貢献」において、「既に協力・貢献している」、「積極的に協力・貢献したい」、「状況によっては協力・貢献したい」と回答した166事業所が対象。

6 まちづくりに関するご意見・ご提言等(自由記述)

※アンケート調査票に記述のまま記載しています。

少子化対策だけでなく、徳島市の未来の為に、子育て世代に優しい街づくりを推進して下さい。
人口流出が一番気になりますが、待機児童の解消やサテライトオフィス・徳島での就職の斡旋(CM みました)など、今の徳島市・市長はとても頑張ってくれていると感じております。今後ますます、徳島市がさらに良くなる事を期待しております。
中心市街地の活性だけでなく、交通・駐車場等便利いい郊外の発展も非常に大切だと思います。
市の中心部に、人が集まるイベント、商業施設が必要。マチアソビや阿波踊り期間以外にも中心部に日常的に賑わいが欲しい。(※コロナ収束後)民間企業からの協力を得られるように行政からも働きかけてもらいたい。行政だけでものごとを進めようとする、反対派が躍起になるので、上手く民間企業と連携していくべき。
1日でも早く、コロナ対策をお願いしたい。
あるべき「まち」づくりには、ある程度のトップダウンでのビジョン提示が、あってしかるべきと思う。個別ニーズの吸い上げよりも、ビジョンの共有がどれだけ浸透するか注力すべきと思います。
幹線道路の整備を早急に進めて下さい。
交通渋滞やガス排出削減を目指すのであれば、徳島も都会のように、公共交通利用を多くできるように、環状線や自転車専用道路を増やして欲しい。地方でも都会同様の交通機関があれば、他方面に移動ができ、活性につながる。
水路の活用、岡山の美観地区のような町づくり。
不動産業・建築業をしている中で、地域の活性化は必要不可欠となります。これからも、地域活性において不動産・建築を通して貢献したいと考えます。
阿波踊りの2年間連続のほぼ中止で町がさびれてきている。コロナが終ればイベントをしてもらって、町を活性化してもらいたい。このまま阿波踊りが小さくならないように阿波踊りあつての徳島市なので力を入れてほしい 明治創業の事業所(提灯業)であるが昔からの製法や技術を伝承している事業を支援して守ってほしい(コロナ禍で全国的に苦しい事業者が多い)このままだと技術を継承できなくなる。
中心地のコンパクトシティ化と再開発、空き家、空き店舗、空き土地等の利用(利用されず放置されていることが多くなっている)。
地下鉄やモノレール等を使った通勤手段の拡張およびそれを利用した都市化を進めてほしい。街のシンボルとして徳島城再建とアトラクション施設として徳島市の中心を活性化してほしい。このままの人口減少は非常に危険。
子育てのため保育所、保育園の充実が急務。共働きでないと生活できない。
最近、高齢化のせいか市内に空き家が増えています。若い人は土地の安い郊外に住んでいます。若い人が住める町づくりをお願いします。
徳島駅周辺にも無料駐車場を備えた大型ショッピングモール等の施設があれば街の活性化につながると存じます。
少子化、高齢化、人口減少により、既存の形態では難しくなっている改めて、魅力ある街作りとは何の様なものか、市民全体で考え議論し合うことが重要ポイントとなってくる。

Ⅲ 大学生アンケート

⑤ 調査概要

1 調査の目的

「徳島市都市計画マスタープラン」の見直しに向け、徳島市のイメージ、徳島市での今後の居住について、大学生の意向・意見を把握し、徳島市都市計画マスタープランに反映させるため。

2 調査の概要

調査の概要は次のとおりである。

調査手法	アンケート調査 直接配布・直接回収による
調査対象	大学生 500 人(3大学:徳島大学、徳島文理大学、四国大学)
調査期間	令和3年7月13日(火)～8月10日(火)
実施主体	徳島市

3 回収状況

調査票の回収状況は次のとおりである。

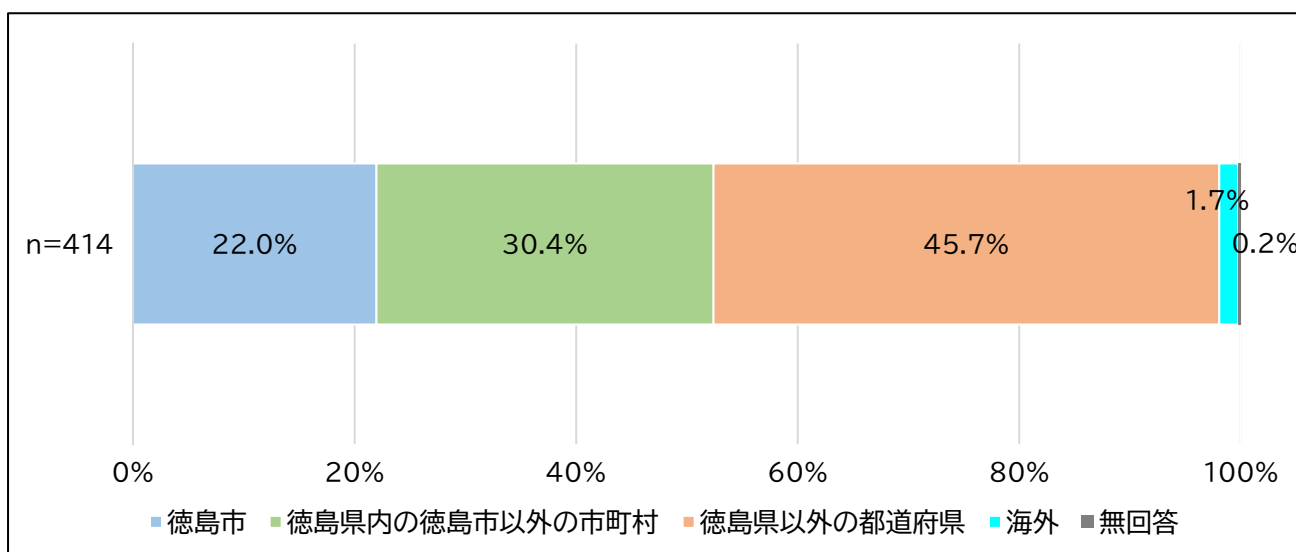
配布数	回収数	回収率
500 件	414 件	82.8%

⑥ 調査結果

1 回答者の属性

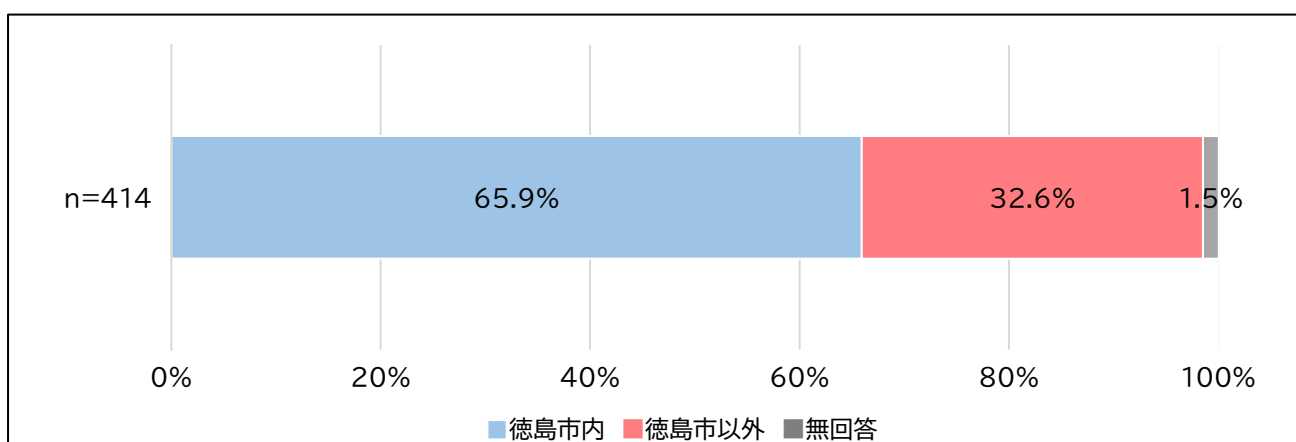
(1) 出身地(1つに○)

出身地をみると、「徳島県以外の都道府県」が45.7%と最も多くなっており、次いで「徳島県内の徳島市以外の市町村」が30.4%、「徳島市」が22.0%となっている。



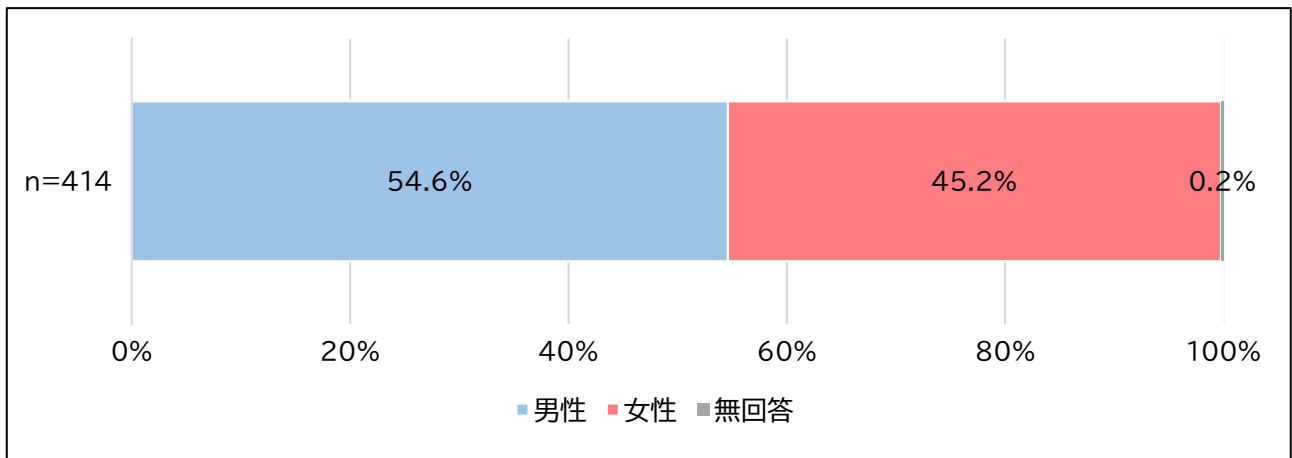
(2) 居住地区(1つに○)

お住まいの地区をみると、「徳島市内」が65.9%となっており、「徳島市以外」が32.6%となっている。



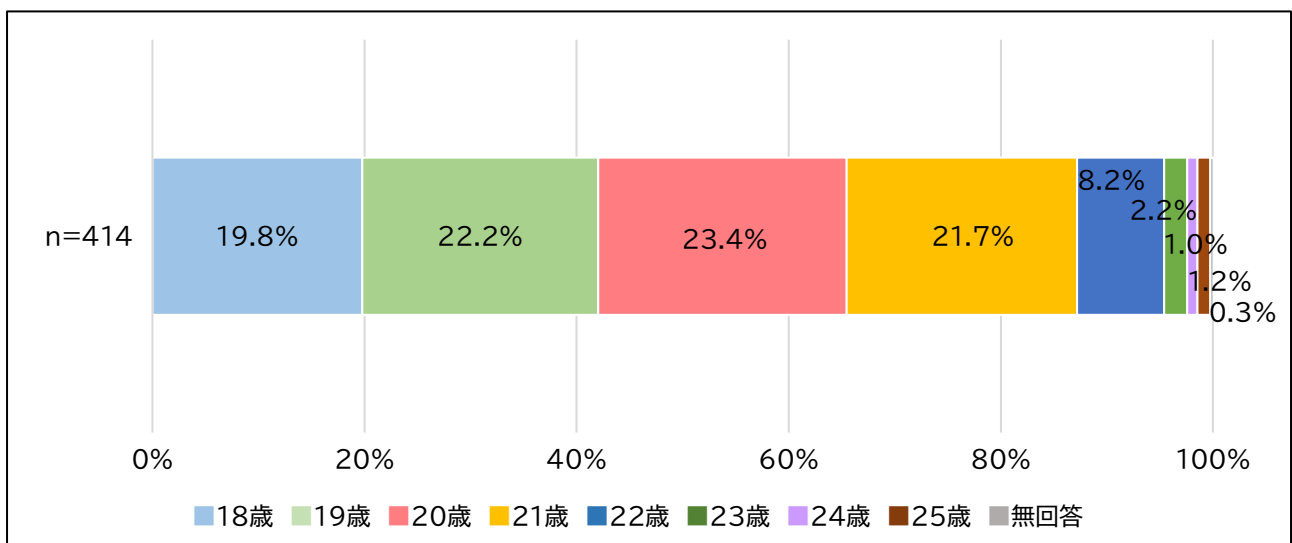
(3) 性別(1つに〇)

性別をみると、「男性」が 54.6%、「女性」が 45.2%となっており、男性の方が多い。



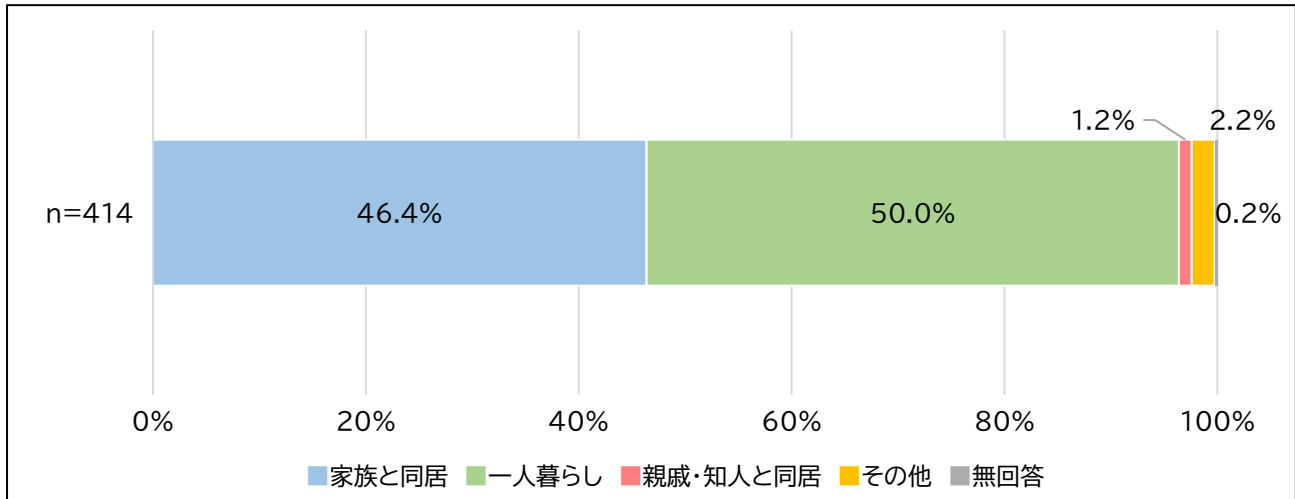
(4) 年齢(自由記述)

年齢をみると、18 歳から 22 歳までを合わせると 95.3%となっている。



(5) 居住形態(1つに○)

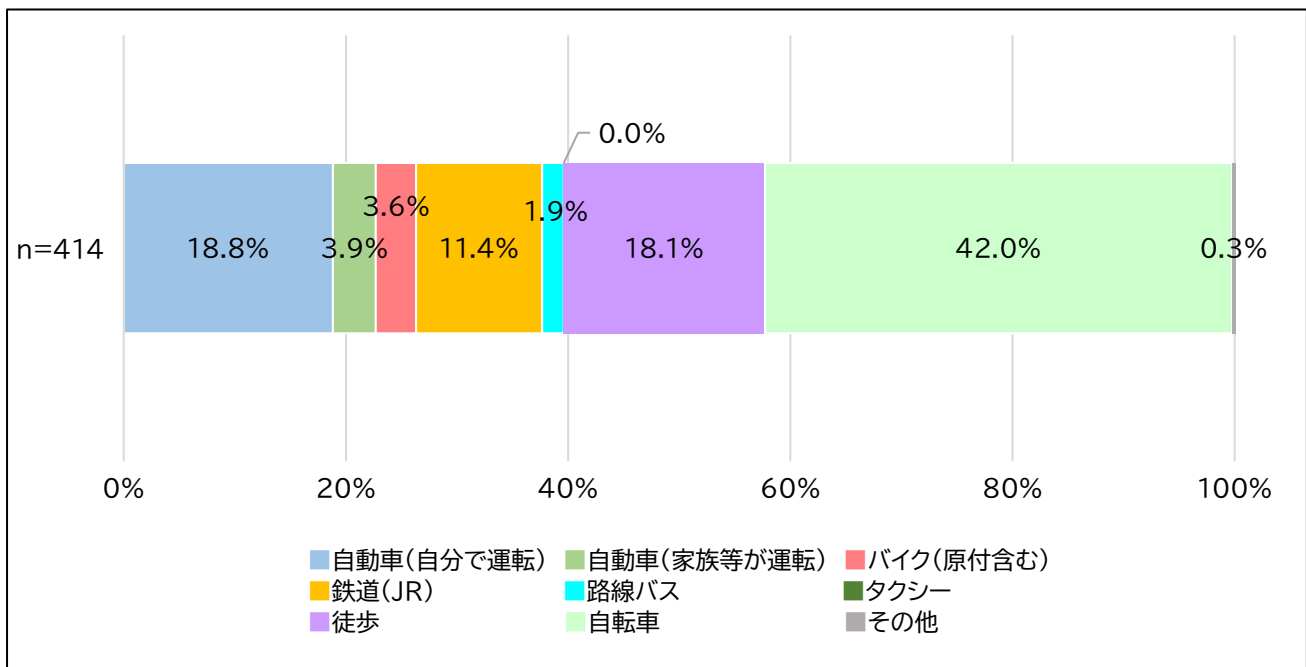
居住形態をみると、「一人暮らし」が50.0%と最も多く、次いで「家族と同居」が46.4%となっており、ほとんどが家族と同居しているか、一人暮らしとなっている。



(6) 通学手段(1つに○)

通学手段をみると、「自転車」が42.0%と最も多く、次いで「自動車(自分で運転)」が18.8%、「徒歩」が18.1%となっている。

「鉄道(JR)」と「路線バス」を合わせると13.3%となっており、公共交通機関を利用する人も一定数いる。

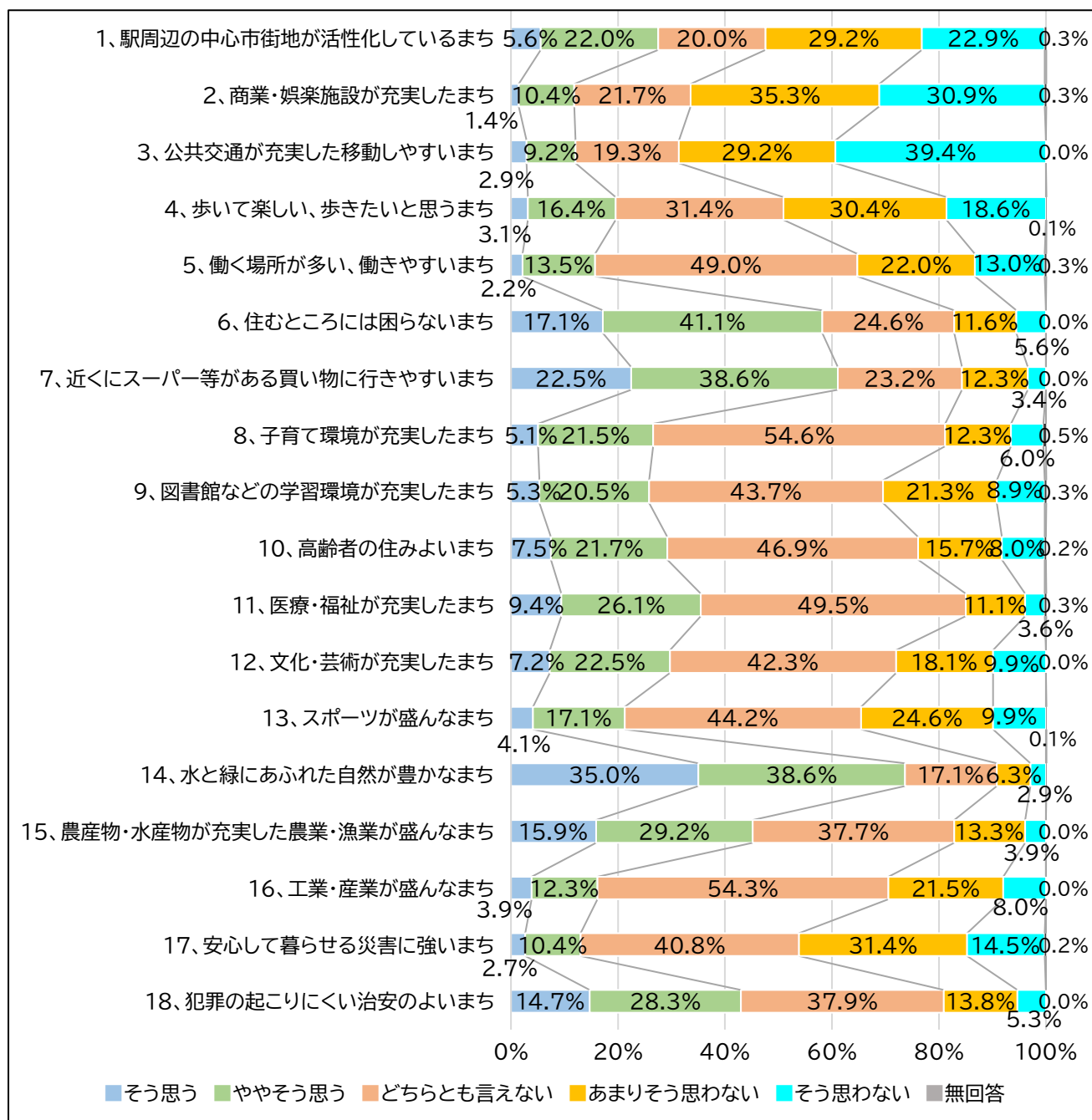


2 徳島市のイメージ

(1) 徳島市のイメージ(設問項目ごとに1つに〇)

徳島市のイメージをみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、「14、水と緑にあふれた自然が豊かなまち」が73.6%、「7、近くにスーパー等がある買物に行きやすいまち」が61.1%、「6、住むところには困らないまち」が58.2%と、高くなっている。

一方、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、「3、公共交通が充実した移動しやすいまち」が68.6%、「2、商業・娯楽施設が充実したまち」が66.2%、「1、駅周辺の中心市街地が活性化しているまち」が52.1%と、高くなっている。

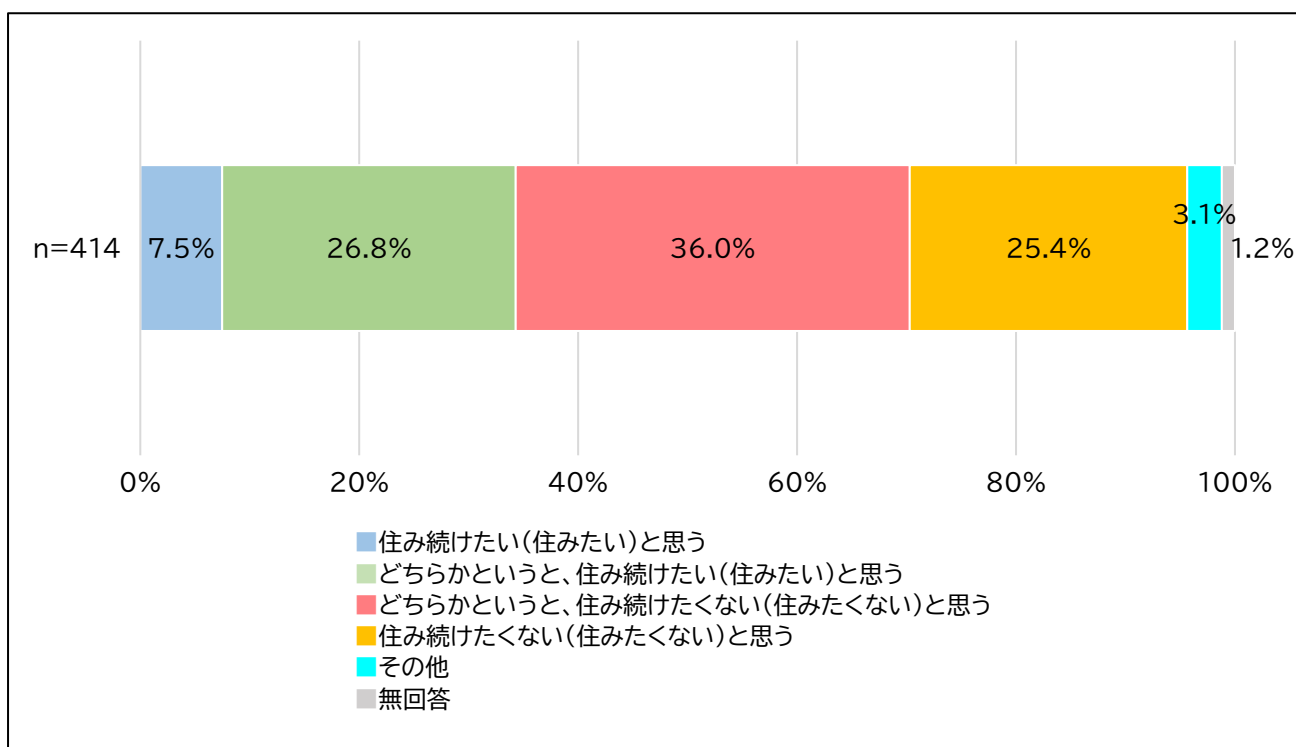


3 徳島市での今後の居留意向

(1) 大学卒業後の徳島市での居留意向(1つに〇)

大学卒業後の徳島市での居留意向をみると、「どちらかという、住み続けたくない(住みたくない)と思う」が36.0%と最も多くなっている。

一方、「住み続けたい(住みたい)と思う」7.5%、と「どちらかという、住み続けたい(住みたい)と思う」26.8%を合わせると34.3%の人が、大学卒業後も徳島市での居住を希望している。



(2) 若者が徳島市に住み続けたい(住みたい)と思うために必要だと考えられること

【満足度】 ※設問項目ごとに1つに○

満足度の上位3位をみると、「自然や緑を楽しめる環境づくり」が 3.63 点と最も高く、次いで「手頃な価格で質の良い住宅の充実」、「保育所等の子育て環境の整備」となっている。

下位3位をみると、「娯楽・遊戯施設の充実」が 2.30 点と最も低く、次いで「通勤・通学のための交通機関の充実」、「まちなかの活性化」となっている。

◇各設問の満足度の平均点

設問項目	満足度
自然や緑を楽しめる環境づくり	3.63
手頃な価格で質の良い住宅の充実	3.45
保育所等の子育て環境の整備	3.21
買い物環境の整備	3.21
図書館・美術館等の文化施設の充実	3.11
防犯対策の充実	3.09
徳島市の良さに関する情報発信・PR活動	2.91
働く場の確保や多様な業種の誘致	2.89
災害に強い安全・安心なまちづくりの推進	2.85
魅力的なお店や空間の充実	2.76
スポーツを楽しめる環境の整備	2.76
まちなかの活性化	2.57
通勤・通学のための交通機関の充実	2.43
娯楽・遊戯施設の充実	2.30
平均値	2.94

※回答のうち、満足している=5(点)、やや満足している=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、やや不満である=2(点)、不満である=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【重要度】 ※設問項目ごとに1つに○

重要度の上位3位をみると、「災害に強い安全・安心なまちづくりの推進」が4.50点と最も高く、次いで「通勤・通学のための交通機関の充実」、「買い物環境の整備」となっている。

下位3位をみると、「図書館・美術館等の文化施設の充実」が3.78点と最も低く、次いで「徳島市の良さに関する情報発信・PR活動」、「スポーツを楽しめる環境の整備」となっている。

◇各設問の重要度の平均点

設問項目	重要度
災害に強い安全・安心なまちづくりの推進	4.50
通勤・通学のための交通機関の充実	4.48
買い物環境の整備	4.46
防犯対策の充実	4.33
娯楽・遊戯施設の充実	4.33
手頃な価格で質の良い住宅の充実	4.32
まちなかの活性化	4.32
魅力的なお店や空間の充実	4.27
保育所等の子育て環境の整備	4.26
働く場の確保や多様な業種の誘致	4.19
自然や緑を楽しめる環境づくり	3.99
スポーツを楽しめる環境の整備	3.94
徳島市の良さに関する情報発信・PR活動	3.93
図書館・美術館等の文化施設の充実	3.78
平均値	4.22

※回答のうち、重要である=5(点)、やや重要である=4(点)、どちらとも言えない=3(点)、あまり重要でない=2(点)、重要でない=1(点)として換算し、設問項目ごとに平均点を算出。

【満足度と重要度のまとめ】

各設問項目の満足度と重要度をみると、「4、娯楽・遊戯施設の充実」や「7、まちなかの活性化」、「10、通勤・通学のための交通機関の充実」などは、満足度が低く重要度が高い項目となっているため、若者の定住促進に向け、優先的に取組みを進めていく必要があると考えられる。

◇各設問の満足度と重要度

設問項目	満足度	重要度
1、買い物環境の整備	3.21	4.46
2、手頃な価格で質の良い住宅の充実	3.45	4.32
3、保育所等の子育て環境の整備	3.21	4.26
4、娯楽・遊戯施設の充実	2.30	4.33
5、スポーツを楽しめる環境の整備	2.76	3.94
6、図書館・美術館等の文化施設の充実	3.11	3.78
7、まちなかの活性化	2.57	4.32
8、魅力的なお店や空間の充実	2.76	4.27
9、自然や緑を楽しめる環境づくり	3.63	3.99
10、通勤・通学のための交通機関の充実	2.43	4.48
11、働く場の確保や多様な業種の誘致	2.89	4.19
12、災害に強い安全・安心なまちづくりの推進	2.85	4.50
13、防犯対策の充実	3.09	4.33
14、徳島市の良さに関する情報発信・PR活動	2.91	3.93
平均値	2.94	4.22

4 まちづくりに関するご意見・ご提言等(自由記述)

【お住まいの地区について】

※アンケート調査票に記述のまま記載しています。

道路の凹凸がひどく、徒歩や自転車の移動が危険である。
食べる店が少なすぎる。店が閉まるのが早い。
公共交通機関をもっと充実させて、本数を増やしてほしい。徒歩で駅まで歩く距離を減らしてほしい。近くに買い物できるところを増やしてほしい。
近くにコンビニが欲しい。車移動しなくてもいい距離にスーパーやドラッグストアが欲しい。
道が狭く、視界が悪いため、よくクラクションや事故が起きているのをよく見ます。歩道も狭く、自転車や車も止まらずに進むのでとても恐いです。道の整備はお金と時間がかかるので、自転車と自動車に乗る人の意識を変えるような活動をしてほしいです。
飲食店だけでなく洋服とかを買えるお店が近くにできてほしい。
中心地への交通手段が少ない。
普通に生活していく分には問題はない。味気ない。
災害のことが心配(土砂崩れなど)。
街灯が少なく、夜間に周辺を歩いたりする時、危険を感じる時が多いです。
交通マナーの取り締まりを強化していただきたいです。ウイカーを付けずに右左折・後方確認せずに右左折などが多数みられます。
住宅が増加しているが、公園等の子供たちが遊べる場が少ないと思います。
大学周辺は飲食店や住居が充実している。その反面、自家用車が無いと買い物や娯楽施設へのアクセスは困難。交通手段の充実と娯楽施設、商店街等が充実すれば利用も検討する。
歩道が狭いため、ベビーカーや自転車で子どもと一緒に安心して歩くことがむずかしい。

【徳島市全体について】

※アンケート調査票に記述のまま記載しています。

災害に強いまちづくりをもっと推進してほしいです。
駅前がもっと賑やかになればいいと思います。
車の運転がひどい。一時停止や左右確認、巻き込み確認が全然できていない。自転車や歩行者が安全・安心に道を通行できない。自動車学校の教習の充実化、厳重化。警察は自転車の防犯登録の確認よりも自動車の安全運転の取り締まりを行うべき。
遊ぶところが駅近くにない。ゲームセンターもなければネットカフェもない。マクドナルドもない。若者向けの娯楽はなく、県外流出も当然の事だと思う。
JRの本数を増やしてほしい。(高松方面) 市バスの本数も増やしてほしい。駅の中にベンチなど電車を待てる所を増やしてほしい。
コンサート施設の充実!(アリーナ規模)
渋滞がすごいのでどうにかしてほしい。
自然豊かで住みやすいところだと思います。
今よりも観光客を沢山引き寄せられるような町づくりをして町を活性化させる必要があると思う!流行のものを取り入れたお店をOPENさせたり。若者にも人気のあるものをつくって行ったら人も増え、にぎわう県になると思う。
町中で時折聞こえてくる阿波踊りの音楽など、芸術性、音楽性の高い楽しい町だと思う。どこか現実離れた明るく楽しい町の維持は難しいかもしれないが、頑張してほしい。
商業施設が少ない。学生の買い物ができるようなショッピングセンターやアウトレットモールなどを入れるべき。
まちなかの活性化。渋滞の緩和を優先してほしい。
県外出身者は車を持っている人が少ないので、交通機関を充実させてほしい。
現状ではコロナウイルスの拡大があり難しいですが、阿波踊りの練習場を観光資源にしたり、(練習風景も見人からすれば面白い)踊りのルートを踏まえた都市計画にしたり、踊り中心の視点も新たな徳島市の魅力につながると思います。学生視点でいうと、駅周辺の自習スペースが大変少ないと感じます。若者やスタートアップ企業が一時的にお店を開ける場所やシステムがもっとあれば、個人で売買しているオシャレなお店の拡大に繋がると思います。
阿波踊りやマチアソビ以外にも大きなイベントを計画したら良いのではないかと。
徳島駅周辺にサッカースタジアムを建設して、スポーツを通じて街を活性化してほしい。